

国分寺市長 井澤 邦夫 殿

令和6年度

国分寺市プレイステーション
事業報告書

国分寺市並木町 2-11-5

特定非営利活動法人 冒険遊び場の会

代表理事 武藤 陽子

(1) 管理業務等の体制及び実施状況 (管理業務及び自主事業)

管理業務の体制

国分寺市プレイステーション

*プレイリーダー

火曜日から土曜日 および第2・4日曜日	常時 平日：8人 土日：8人 常勤プレイリーダー 2人 9:30～21:00 (1時間休憩) *早番、遅番 あり 非常勤プレイリーダー2人 (土日 3人) (他に、平日：駄菓子屋スタッフ 1人、 夕暮れスタッフ 3人) (他に、土日：駄菓子屋スタッフ 1人 土日カフェスタッフ 2人)
------------------------	--

*事務

火曜日から土曜日 および第2・4日曜日	常時 1人 非常勤 1人 平日：9:30～17:30 (1時間休憩)
------------------------	---------------------------------------

国分寺市プレイステーション内 親子ひろば 「BOUKENどんどこ」

*子育てサポーター

火曜日から土曜日	常時 3人 常勤プレイリーダー 1人 9:30～17:00 (1時間休憩) 非常勤プレイリーダー2人 9:30～16:30 (1時間休憩)
----------	---

*カウンセラー

毎週 木曜日	非常勤 1人
--------	--------

*全体統括 1名 (非常勤)

自主事業

○プレステ子どもまつり

日程：令和6年9月29日(日) 13:00～15:30

参加人数：0歳～17歳 293人 大人 220人 合計 513人

出店内容：射的、くじや、スイーツ販売、キーホルダーなどの小物販売、クラフト
品販売 へびの骨の展示 フライドポテト販売

○プレステマルシェ

日程：令和6年12月1日（日）11：30～14：30

参加人数：0歳～17歳 276人 大人 272人 合計 548人

出店内容：利用者によるハンドメイド品の販売、バザー、ワークショップ、 棒パン
焼き体験、やきそば販売、地元野菜販売

（2）決算状況等及び施設の利用実績

（決算収支状況、公の施設の利用実績（利用者数、利用不承認の件数・その理由）

＊決算収支状況 【別紙
1】

＊公の施設の利用実績（利用者数、利用不承認の件数・その理由）

国分寺市プレイステーション

利用実績（親子ひろばの人数含む）

	幼児	小学生	中高生	大人	計	開場日		
4月	752	864	171	765	2,552	23		
5月	629	757	185	668	2,239	23		
6月	740	743	101	767	2,351	23		
7月	643	594	149	617	2,003	24		
8月	539	633	123	507	1,802	24		
9月	566	667	99	560	1,892	22		
10月	727	718	180	627	2,252	25		
11月	763	686	103	792	2,344	23		
12月	586	565	104	551	1,806	21		
1月	624	575	101	612	1,912	21		
2月	623	672	84	590	1,969	20		
3月	680	828	99	663	2,270	22		
計	7,872	8,302	1,499	7,719	25,392	271		
9月：「こどもまつり」の人数は含まず（子ども 293人、大人 220人 計 513人）								
12月：「マルシェ」の人数は含まず（子ども 276人、大人 272人 計 548人）								
利用人数					25,392	人		
開場日数					271	日		
1日平均					93.7	人		

入場者数 前年度との比較

	開場日数	利用者内訳（年齢別）（人）				利用者人数	1 日平均
		幼児	小学生	中高生	大人		
令和 6 年度	271 日	7,872	8,302	1,499	7,719	25,392	93.7
令和 5 年度	268 日	8,494	7,567	916	8,597	25,574	95.4
令和 6 年度 － 令和 5 年 度	＋ 3 日	－ 622	＋ 735	＋ 583	－ 878	－ 182	－ 1.7
前年度比	101%	93%	110%	164%	90%	99%	98%

（注 1） 9 月：プレステこどもまつり（参加者 子ども 293 人、大人 220 名）は含まず

（注 2） 12 月：プレステマルシェ（参加者 子ども 276 名、大人 272 名）は含まず

国分寺市プレイステーション内 親子ひろば

利用実績

	子ども						大人						合計	
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳 以上	計	母親	プレ ママ	父親	プレ パパ	その他	計	日計	うち 市外
4月	110	145	78	29	41	403	311	0	39	0	8	358	761	128
5月	122	135	62	26	25	370	291	0	32	0	6	329	699	106
6月	121	148	70	34	42	415	328	1	44	1	7	381	796	119
7月	118	145	100	33	52	448	328	0	49	0	19	396	844	181
8月	89	134	83	47	63	416	287	1	54	1	28	371	787	166
9月	109	195	64	30	31	429	327	0	41	0	16	384	813	159
10月	128	192	87	36	33	476	358	0	48	0	14	420	896	164
11月	126	199	81	31	24	461	367	0	41	0	5	413	874	181
12月	114	115	65	28	30	352	260	0	35	0	8	303	655	108
1月	138	163	87	21	37	446	335	0	40	0	11	386	832	115
2月	116	169	87	30	26	428	324	0	43	0	5	372	800	108
3月	110	152	73	47	37	419	311	0	45	0	10	366	785	106
合計	1,401	1,892	937	392	441	5,063	3,827	2	511	2	137	4,479	9,542	1,641

利用者数 前年度との比較

	実施 日数	子どもの年齢別利用者数（人）					子ども 合計	大人	利用者合 計	1 日 平均
		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳以 上				
令和 6 年度	249 日	1,401	1,892	937	392	441	5,063	4,479	9,542	38
令和 5 年度	245 日	1,737	1,995	899	440	479	5,550	5,017	10,567	43
令和 6 年度 －令和 5 年 度	＋4 日	-336	-103	+38	-48	-38	-487	-538	-1,025	－5
前年度比	102%	81%	95%	104%	89%	92%	91%	89%	90%	89%

利用実績

【利用団体】

		利用回数	備考
1	ハンティントン	随時	自主保育サークル
2	ぐるんぱ	随時	自主保育サークル
3	ピカソ	随時	自主保育サークル
4	ガールスカウト第 97 団	1	
5	ころろ子ども探検隊	4	
6	国立発達支援センター	3	
7	ぶんじっこ保育園	4	
8	第四小学校さつき学級	1	
9	自由学園	1	
10	じゅげむ	1	学習支援団体（所沢市）
11	光	1	放課後デイサービス（三鷹市）
12	国分寺子どもクラブ	2	放課後デイサービス
13	コパンハウスさくら 若葉町教室	7	放課後デイサービス（立川市）
14	コパンハウスさくら 幸町教室	6	放課後デイサービス（立川市）
15	第 2 ルーチェ	2	放課後デイサービス
16	クラブかたつむり	1	放課後デイサービス
17	あいうえお	1	放課後デイサービス
18	ナチュール	1	放課後デイサービス
19	ツリーハウス LICO	2	放課後デイサービス
	合計	38	

【ボランティア参加者数】

ボランティア体験（学生の受入れ）

○東京経済大学 地域貢献としての受け入れ 138 人

実施日数 92 日（期間：5 月 14 日～11 月 16 日）

見学（学生の受入れ）

○武蔵野美術大学学生 2 人 2 回 （6 月 6 日、9 月 4 日）

○立教大学学生 1 人 1 回 （6 月 7 日）

○千葉大学学生 1 人 1 回 （10 月 8 日）

ボランティア体験（地域の方）

受入れ日数 129 日 延べ人数 173 人

【実習の受入れ】

○東京慈恵会医科大学

① 5 人 日数：4 日（期間：令和 6 年 5 月 21 月～25 日）

② 5 人 日数：4 日（期間：令和 6 年 5 月 28 月～6 月 1 日）

③ 1 人 日数：4 日（期間：令和 6 年 7 月 16 月～20 日）

【職場体験の受入れ】

- ・国分寺市立第一中学校 8 人 日数：4 日（期間：令和 6 年 9 月 25 月～28 日）
- ・国分寺市立第二中学校 5 人 日数：3 日（期間：令和 6 年 11 月 27 月～29 日）
- ・国分寺市立第五中学校 5 人 日数：3 日（期間：令和 7 年 1 月 21 日～23 日）

【見学の受入れ】

6 月	9 日：民生委員 20 日：放課後デイサービスこげら会 1 人
7 月	20 日：こくカレメンバー 3 人 27 日：国分寺市市政戦略室職員 4 人
9 月	8 日：昭島市立光華小学校「自由遊びの会」1 人 21 日：こくカレメンバー 3 人 24 日：早稲田大学佐藤研究室 1 人 26 日：国分寺市立第一中学校教諭 1 人 26 日：大阪スポーツみどり財団 2 人 27 日：学習支援団体 じゅげむ 2 人
10 月	8 日：千葉大学学生 1 人

	23日：合同会社 Walk 2人 31日：ころろ子ども探検隊 1人
12月	7日：川崎市夢パーク職員 1人
1月	22日：くにたち農園の会 4人 28日：シルバー人材センター職員 1人 29日：こくぶんじ観光まちづくり協会 4人
2月	14日：国分寺市子育て相談室職員 1人 19日：NPO 法人 あそびとまなび研究所 2人

随時：地域の方、ボランティア希望者

【視察の受入れ】

5月30日	USA ノースイースタン大学	学生、博士、アシスタント 計38人
9月8日	ルーマニア国立バベシュ・ボ ヨイ大学文化センター	職員 4人
9月27日	アラブ首長国連邦	Abu Dhabi Early Childhood Authority 職員9人、通訳1人

利用不承認の件数 0件

(3) 従事者育成に係る研修実施状況

日にち	時間	参加人数	内容
3月17日(日)	12:45~16:30	29人	令和6年度 活動前研修
5月13日(月)	10:00~12:00	28人	「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」の 確認研修
5月20日(月)	9:30~10:30	29人	応急手当研修
7月22日(月)	10:00~12:30	28人	前期活動振り返り研修
9月28日(土)	10:30~11:30	6人	障がいをもった人向けのサポート講座①
10月5日(土)	10:30~11:30	6人	障がいをもった人向けのサポート講座②
10月12日(土)	9:00~12:00	6人	障がいをもった人向けのサポート講座③
9月18日(水)	10:00~12:00	4人	子育て支援研修
10月18日(月) 22日(月) 両日のうちの各一日	10:00~12:00	23人	木工作研修
11月5日(火)	10:00~12:00	10人	地震防災研修

11月11日（月）	11：00～12：00	28人	いじめ、虐待、暴力などの観点から、事例をあげての研修
11月17日（日）	10：00～12：00	24人	講師によるプレイステーション現場における安全管理研修
12月16日（月）	9：00～12：00	26人	・講師による安全管理研修を受けてのスタッフ全員での研修 ・プレイリーダーの役割の確認研修
1月20日（月）	9：30～10：30	26人	消防士による AED 研修
10月25日～ 1月24日 内における各一日	10：00～12：00	14人	川崎夢パーク見学実習

プレイリーダー講習会

【別紙2】

- フィールドワーク 「コリントゲームを作って子どもの遊びを体験しよう」

日時：令和6年6月30日（日）13:00～16:30

参加人数：44人

- 講義「子どもに必要なのは遊び？勉強？習い事？」

日時：令和7年2月2日（日）13:30～16:30

参加人数：66人

（4）利用者意見及び自己評価

（利用者アンケート調査、事業実施状況自己評価）

【別紙3】

利用者アンケート調査

- 国分寺市プレイステーションアンケート

実施期間：11月実施(令和6年11月1日～30日)

対象者：国分寺市プレイステーション利用者

子ども 回答数：108

大人 回答数：115

- 親子ひろばアンケート

【別紙4】

実施期間：9月実施(令和6年9月1日～30日)

対象者：プレイステーション内親子ひろば利用者 回答数 40

方法：市の親子ひろばアンケートに準じた方法でおこなった。

(母子モにてアンケートを取った)

利用者懇談会の実施

【 別紙 5 】

○子ども版 令和 7 年 3 月 21 日 (土) 11 : 00～11 : 40
参加者 : 子ども 10 人

○大人版 令和 7 年 3 月 22 日 (日) 15 : 00～16 : 00
参加者 : 大人 7 人

事業実施状況自己評価

【 別紙 6 】

(5) 苦情対応に係る記録

【 別紙 7 】

(6) 事業計画書に掲載した計画の実施状況

【 別紙 8 】

収支決算報告書

【別紙 1】

(令和6年度)

令和 6年 4月 1日 から 令和 7年 3月 31日

施設名	国分寺市プレイステーション
指定管理者名	NPO法人 冒険遊び場の会
指定管理期間	令和 6年 4月 1日 から 令和 11年 3月 31日

【指定管理業務に係る収支計画】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘要
指定管理料	29,841,539	29,841,539	100%	※消費税込
事業収入(市指定)	80,000	73,000	91%	プレイリーダー講習会参加費
	1,500,000	1,402,690	94%	駄菓子屋・土日カフェ売り上げ
本部繰入金	0	0		
その他の収入	0	0		
収入合計	31,421,539	31,317,229	100%	

2. 支出の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘要
人件費				
職員給与	6,372,000	5,845,560	92%	常勤職員2名分:296,000円×12ヶ月、 235,000円×9ヶ月他
アルバイト給与	10,517,840	11,257,790	107%	時給1,200円(平日)、1,240円(土日)
事務人件費	2,699,200	2,706,860	100%	時給1,200円(平日)、1,240円(土日)
統括	1,008,000	1,008,000	100%	1名分:84,000円×12ヶ月
交通費	120,000	122,362	102%	通勤費
法定福利費	2,200,000	1,967,058	89%	社会保険・労働保険事業者負担分
需要費				
消耗品費	480,000	505,705	105%	ゴミ袋、衛生用品、活動材料他
施設維持費	220,000	229,405	104%	コンパネ、木材、水性ペンキ他
通信費	146,000	145,575	100%	電話、インターネット他
保険料	194,000	188,630	97%	傷害保険、賠償責任保険料
燃料費	15,000	14,450	96%	ガソリン代
広報印刷費	30,000	31,420	105%	チラシ等印刷
車両リース料	88,000	88,000	100%	車両リース料4か月分(3事業で按分)
車両費	2,000	1,900	95%	コインパーキング駐車料金
管理費				
光熱水費	1,900,000	1,558,446	82%	電気・水道・燃料費
空調衛生設備保守	627,000	445,500	71%	清掃委託料、換気扇清掃料
消防設備保守	110,000	104,280	95%	セコム
事業費				
プレイリーダー講習会	200,000	266,151	133%	予算内訳(委託費120,000円+参加費 80,000円)
仕入	1,300,000	1,245,850	96%	駄菓子屋・土日カフェ仕入れ
講師料	18,000	12,000	67%	研修等講師謝金
その他				
支払手数料	3,000	3,875	129%	銀行振込手数料等
一般管理費	1,743,247	1,744,874	100%	事務所経費按分、税理士・社会保 険労務士支払報酬按分、スタッフ研 修人件費、管理人件費他
租税公課(消費税)	1,428,252	1,382,000	97%	消費税
支出合計	31,421,539	30,875,691	98%	

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

【自主事業に係る決算報告】

1. 収入の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
自主事業に係る収入	100,000	74,370	74%	子どもまつり、バザー、マルシェ、仲間づくり登録料、飲み物等販売等
本部繰入金	0	0		
収入合計	100,000	74,370	74%	

2. 支出の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
自主事業に係る支出	100,000	62,983	63%	マルシェ仕入、消耗品費、広報印刷費、駐車料金、人件費等
本部経費よりプレイステーション事業へ算入	0	0		
実質収益		11,378		
支出合計	100,000	74,361	74%	

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

※収支計算に対する総括・自己評価

- ・職員1名の休職中にアルバイトで対応したためアルバイト人件費が増え、その職員が途中退職したことにより法定福利費が減った。
- ・コロナ5類感染症に移行された後も玩具・テーブル消毒や手指消毒等の利用者の需要があり、消耗品費の衛生用品の比重が増えた。

【指定期間中の状況】

指定管理期間		令和 6年 4月 1日 から 令和 7年 3月 31日	
指定管理費 収入総合計額(円)		29,841,539	
指定管理費 支出総合計額(円)		29,841,539	
指定管理費 市提示の総額上限額(円)		29,841,539	
(単位:円)			
指定期間中の決算の状況	収入	支出	収支
令和6年度	31,317,229	30,875,691	441,538
計	31,317,229	30,875,691	441,538
(単位:円)			
指定期間中の自主事業の収支状況	収入	支出	収支
令和6年度	74,370	62,983	11,387
計	74,370	62,983	11,387

収支決算報告書

(別紙1)

(令和 6年度)

令和 6年 4月 1日 から 令和 7年 3月 31日

施設名	国分寺市プレイステーション内 親子ひろば
指定管理者名	NPO法人 冒険遊び場の会
指定管理期間	令和 6年 4月 1日 から 令和 11年 3月 31日

【指定管理業務に係る決算報告】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘要
指定管理料	9,957,249	9,957,249	100%	
事業収入(市指定)	0	0		
本部繰入金	0	0		
その他の収入	0	0		
収入合計	9,957,249	9,957,249	100%	

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘要
人件費				
職員給与	2,402,400	2,404,832	100%	1名分:200,200円×12ヶ月
アルバイト給与	5,382,360	5,347,985	99%	時給1,200円(平日)、1,240円(土日)
統括	468,000	468,000	100%	統括1名 39,000円×12ヶ月
交通費	30,000	28,303	94%	通勤費・研修交通費等
法定福利費	700,000	748,162	107%	社会保険料・労働保険料・健康診断事業者負担分
事業費				
講師料	117,000	81,000	69%	講師代
需要費				
消耗品費	169,040	162,349	96%	清掃用品、コピー用紙、テープ他活動材料等
傷害保険料	50,000	49,910	100%	傷害保険料、賠償責任保険料
その他				
支払手数料		1,925		
一般管理費	638,449	664,415	104%	事務所経費按分、社会保険労務士支払報酬按分、スタッフ研修人件費、管理人件費他
支出合計	9,957,249	9,956,881	100%	

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

※収支計算に対する総括・自己評価

・講座は年12回行ったが、講師として利用者の参画の観点から利用者が講師となり、講座をおこなった結果、講師料の予算が余る形になった。その他は予定通りの活動を行うことができ、予算通りの執行ができた。

【指定期間中の状況】

指定管理期間	令和 6年 4月 1日 から 令和 7年 3月 31日
指定管理費 収入総合計額(円)	9,957,249
指定管理費 支出総合計額(円)	9,956,881

指定管理費市提示の総額上限額(円)	9,957,249
-------------------	-----------

(単位:円)

指定期間中の決算の状況	収入	支出	収支
令和6年度	9,957,249	9,956,881	368
計	9,957,249	9,956,881	368

1 フィールドワーク 「コリントゲームを作って子どもの遊びを体験しよう」

日時：令和6年6月30日（日）13:00～16:30

場所：国分寺市プレイステーション

主催：子ども子育て支援課

実施：市プレイステーション指定管理者「特定非営利活動法人 冒険遊び場の会」

参加人数：44名

（1）事業の目的

- ・大人が遊びの体験をすることで、子どもへの共感を育み遊びの重要性への認識を深めてもらう。
- ・遊びのスキル、遊びの安全管理について学び、プレイリーダーマインドを身につける。

（2）実施プログラム

① 講師による解説

② コリントゲーム作り体験

ア、大きさが違う板を用意し、各自で選んでもらう。

イ、素材はまとめて置いておく。

ウ、見本は置いておく。各自の発想で自由に作る。出来たもので遊ぶ。

エ、他の人の作品を見て回る。

③ 準備したもの

- ・ノコギリ ・トンカチ ・ハサミ ・釘抜き ・キリ ・穴あけ ・定規 ・鉛筆
- ・マジック ・アクリル絵の具 ・素材（木っ端、枝、木の実など大小に分けて）

③ 振り返り・講師講評

（3）内容と参加者の様子

- ・最初に講師より手順などの説明、作っているときの気持ちにも注目するよう話された。
- ・次にグループに分かれて材料の選択、コリント作り作業を開始した。
- ・出来たものを実際に試しながら改良し、また他のグループの作品を見て回った。

参加者の様子

みんな夢中になってコリントゲームを作った。まず発想の段階から慣れていない人は時間を要したが、中には素早く作業を進め、装飾や色塗りにこだわる人もいたり、参加者同士お互いに教えあう姿も見られた。イメージを具現化するのに苦労した人、もっと時間がほしかった人、工作に苦労した人、他の参加者から褒められてうれしかった人など、子どもたちの遊んでいると

きの気持ちが理解できたように思う。

その後はグループで各自感想を述べ、他のグループを見て回り、出来た作品は持って帰った。

<当日の様子と作品>



2 講義「子どもに必要なのは遊び？勉強？習い事？」

日時：令和7年 2月 2 日（日）13:30～16:30

場所：ココブンジプラザ リオンホール

主催：子ども子育て支援課

実施：市プレイステーション指定管理者「特定非営利活動法人 冒険遊び場の会」

参加人数：66名

内容：講義

講師 奥富 裕司氏

2011年より国分寺市プレイステーションの常勤プレイリーダーとして活躍。多くの子どもたちと関わり、子どもたちの居場所づくりに関わっている。

(1) 事業の目的

- ・プレイリーダーが語る遊び場の実態を学ぶことで、遊び場の重要性についての認識を深める。
- ・教育や指導ではなく、ありのままに子どもを受け止めるというプレイリーダーの体験を聞き、子どもへの接し方を見直すきっかけにしたい。
- ・遊びの可能性、トラブルへの対処法を理解することで、遊び場活動や子どもの育ちを支える活動に興味を持つ大人を増やしたい。

(2) 実施プログラム

2月2日 講義	
13:30	講師紹介
13:35	講義「子どもに必要なのは遊び？勉強？習い事？」 奥富 裕司氏
14:30	グループワーク「そうは言っても私の気持ちは」
15:10	発表
15:50	全体討議・質疑応答・まとめ
16:30	終了

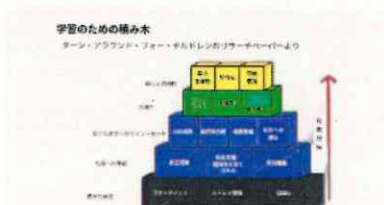
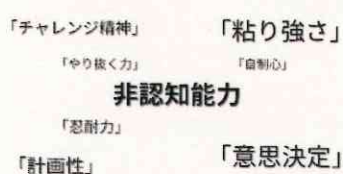
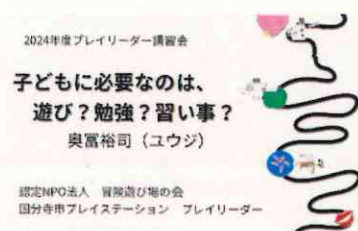
(3) 実施内容と成果

① 講義内容「子どもに必要なのは遊び？勉強？習い事？」

- ・人は安心するから冒険できるという実例
- ・遊び場への批判に対する回答
- ・質問受付
- ・全体討議

② 成 果

- ・遊び場の実態を学ぶことができた。
- ・プレイリーダーの仕事について具体的に学ぶことができた。





遊びへの批判

「今は勉強してもらわないと困る」
「子どもの将来に責任もてるんですか？」

子どもの将来に希望が必要で、不安ですか？

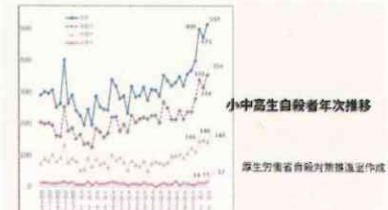


自分で選び、やってみる

『いいこと思いついた！』は好奇心と行動力



～「無駄遊び」への批判と、その回答～



「競争に勝って生き残らなきゃ！」
遊びの中で自然発生する競争をこそ、大事に



遊ばせ場ではなく、遊ぶ場を

こどもは、もともと自由
大人は、こどもに自由を与えることはできない。

子どもの非行への批判

「出禁にすべきだ」
「指導をしないのは面倒くさいからだ」
「対応が甘っちゃうよ」
「子どもの言いなりになっている」

「遊学しかり得ない・・・」
「勉強しない子どもをみると、不安で仕方がない」

あなた自身、「希望」が必要なのは？
子どもと一緒に「やってみよう」を探してみませんか？

教育的対応

「ダメなものダメ！」
「叱られるからやめよ」
「叱られても関係ないわ」

遊びという対応

共通言語「遊び」
共感しながら、自立する



遊ぶは生存戦略
～「無駄遊び」への批判と、その回答～

あるプレイリーダーの指針

①自分の目的がはっきりしている
②手段をブラッシュアップしている
「大変なことでも遊びになる」
冒険
共感 + 尊重 信頼・・・安心
プレイリーダー

特性への理解が必要な子どもへの対応

『どけ！死ね！』
「僕は皆の安心が大事だから、それは凄く嫌な気分」
「どうしてもここをお通しする必要があるの？どうしようか・・・」
「怖かった？彼はここを通りたいらしいんだが、君はどう？」
めんどくさいけど、
「意味が分かるからルールを守る人」になってほしい

愛着が得られていない子どもと、遊びの対応

「あー、俺居場所ねえな！プレイ以外」
『甘やかすから、調子に乗るんだ！』
「俺、もうあんまりプレイ行かない。迷惑かけちゃうから」
「でも、時々顔見せにくるわ。ゆうじが心配するといけなから」

「自信とそっくりの優越感」

自信

自分のために遊んでいたのに、

いつのまにか褒めてもらうために・・・



「本当は、全部遊びで良かった」

他人を愛する事？ 献身する事？

遊びのレベルをあげれば良い

「なぜこんな辛い仕事を続けるのか」

「なぜこんな面倒な家事を続けるのか」

「なぜここまでして子どもに勉強させるのか」

毎朝自分に問うてみる

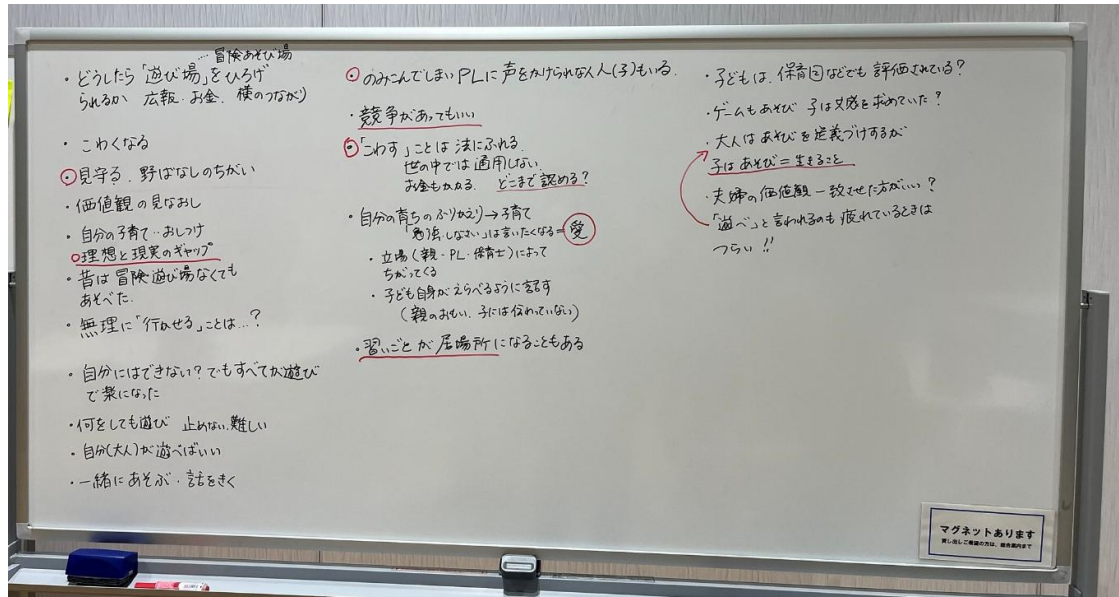
[なぜ、それをするのか？]

「なぜなら
これは私（達）の人生（遊び）
だから、私（達）が選んでる」

「私は選んでなんかいない」「やらされているんだ！」
なら、実はやめていい。他の道を、選んでいい。

遊びを、最も尊い営みとして、何より重んじる

<全体討議より>

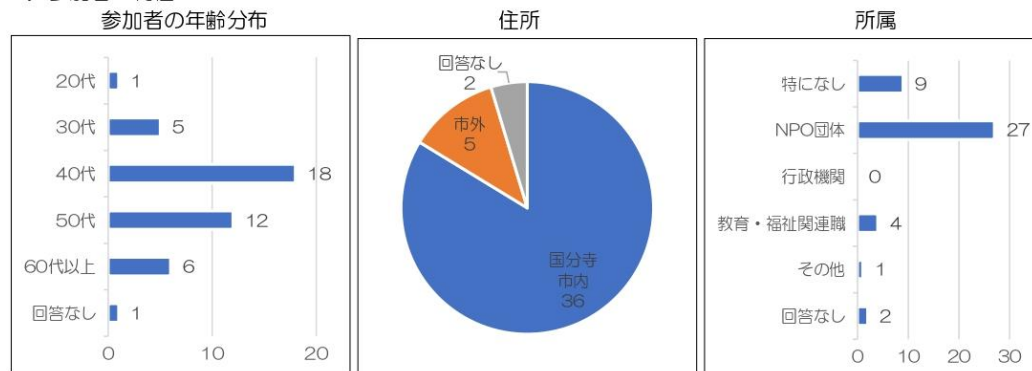


3 アンケート結果

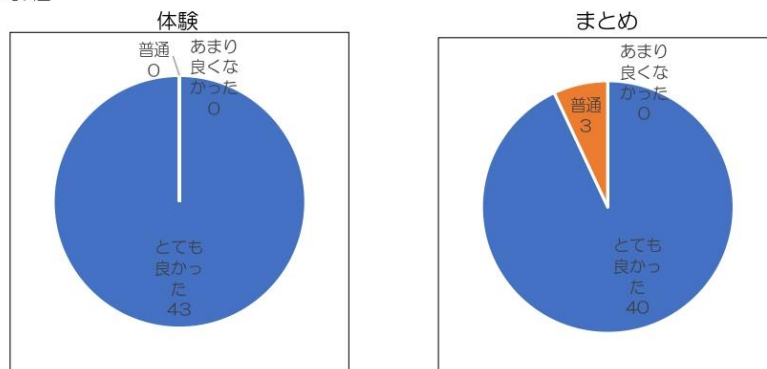
(1) フィールドワーク 「コリントゲームを作って子どもの遊びを体験しよう」

受講者のアンケートの結果 回答者数 43 名（参加者数 44 名）

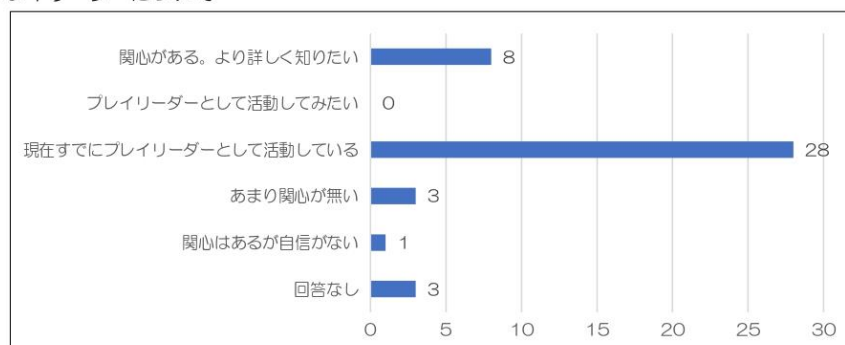
1. 参加者の属性



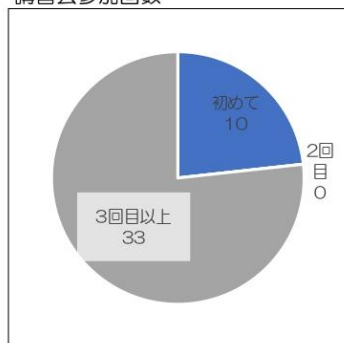
2. 講習会の評価



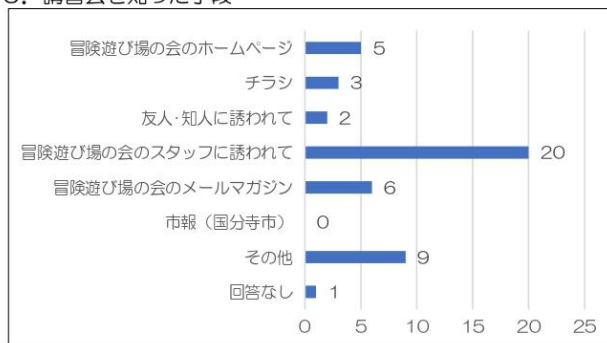
3. プレイリーダーについて



4. 講習会参加回数



5. 講習会を知った手段



⑥ 感想

- ・ It was a interesting experience, that manage to mix DIY and planning and conceptualization
- ・ 4 歳の子どもがいるので子どもに喜んでもらえる工作の企画で良かったです。
- ・ 他の方の作品を見て、型にハマらない発想を学べた。他の方と話しながら作る予定だったが思いのほか 1 人で熱中できた。
- ・ 自分で体験してみると違う景色があるなと思った。
- ・ 始めはなるべく汚れないようにしていたが、気づいたら、夢中になって手もまっ黒、ジーパンも泥だらけになっていた。
- ・ テーマがコリントゲーム作りだったが、はじめて難しく感じて作っていたが、徐々に気分がのった時には時間も余り無くあせってしまった。
- ・ つくることはもともと大好きなのですが、今日は時間が決まっているのでできるかな？と思いつつ集中しました。
- ・ 職場の近くの公園に利用者で行っていて、チラシをもらい来ました。プレイリーダーという存在を初めて知りました。とても興味深く、今日、参加できて楽しかったです。久しぶりに SNS ではなく集中できる時間がとても貴重でした。子どもの時のようにワクワクして楽しかったです。
- ・ はじまりのころ、どうしようか困っていた時に声をかけてもらったり、道具の使い方をおしえてもらったりして、なんとかできました。とても楽しかったです。
- ・ 大人になってからの久々の図工作業で童心にかえると同時に遊んでいる子供の気持ちになることが出来ました。
- ・ 苦手なことも取りかかってみると、楽しくなってきた。子どもにもまずはやってみようと思えると思った。
- ・ 久しぶりに没頭して遊びました！色々なアイデアも参考にでき、楽しい一時でした。ありがとうございました！
- ・ 久しぶりにじっくり作る時間をすごせて充実していた
- ・ つくりたい形(アイデア) が出るまでに時間がかかって、作業の時間が少なくなってしまった
- ・ 大人でも集中する時間、一生懸命取り組む機会、無になる時間、大切な時間だと感じました。
- ・ 子どもの気持ち、対応する時のタイミング、言葉がけ、改めて考えさせられました。
- ・ 子どもの気持ちがとてもよく分かる講習会だった。シンプルだけど難しかった。
- ・ 完成するか心配だったのですが、なんとかできて良かったです。みなさんの作品がすばらしかったです。
- ・ 夢中になる時間が久しぶりに持てて、気分がスッキリしました。大人こそ遊びが必要かもしれませんね。
- ・ 子どもの気持ちに気づくよい機会
- ・ 時間が足りなかったり、つくりたいものが大きすぎたり子どもの気持ちがわかる研修でした。ファイルソーじっくりつかえてよかったです
- ・ たのしかった。時間が余るかと思ったが思いもよらない所で苦戦して時間足りなかった。「あと何分～」と言われるとあせって作ったものも出しっぱなしになる気持ちがわかった。
- ・ 完成させることができてよかった。様々な工夫をこらした作品を見ることができて楽しかった。

- ・うまく良いものを作ろう！という気持ちを全てすてて、子どもになった気持ちでつけたいもの気になるものを思うままに作ってみました。気持ちが開放されて最高でした。
- ・何のプランもなくはじめたが途中困ったときは、一緒にグループの人が助言してくれたり PL がアドバイスしてくれて完成できた。あとは色をぬりたかった。
- ・初めて作ったのですが思ったより難しかったです。集中すると2時間は短かったです
- ・程良い人数の班で皆で少し交流もしつつ、作れてよかった。講習会スタッフの方が見回りしてくれるので、困り事もすぐ相談しやすかった。初めて参加した方も、スタッフが優しいとよろこんでました。
- ・グループもみんな集中してできた。仕上げたいという気持ちが大きく、もくもくとやった。楽しかった。
- ・ただただ楽しかったです。作りながら子どもの気持ちに思いをはせたり、時間が近づいてあわててみたり、ひさしぶりに集中してものづくりができたのもたのしかったです。
- ・子どもの気持ちになって集中して楽しめました。体験して子どもの気持ちになれ良い機会でした。
- ・夢中になって作る楽しさを、久々に味わうことができました。子どもたちにも夢中になってあそぶ体験をいっぱいしてほしいと思います。
- ・子どもの頃に戻れた。楽しかったです。ありがとう
- ・没頭することが好きと思っていたが、周りが気になったり、時間が気になったりする自分がいた。
- ・想像以上に楽しかった。色々準備していただきありがたかった。
- ・工具の使い方を事前に教えて頂いていたのが、つながって良かったです。たしかめながらとりくめました。やっていくうちにどうしようか試行錯誤があり、スタッフの方がこえをかけて下さり、そっかー！ということがたくさんありました。ありがとうございました。
- ・作ってみて難しいところもあったが、仲間やプレイリーダーにもアドバイスを聞けたので楽しむことができた。作ってみることで子どもの夢中になって作っているときの気持ちやくやしきなど共感できてよかったと思う。材料もたくさんあり（自然素材のもの）わくわくした。準備ありがとうございました。
- ・一生懸命つくっているのに釘がまがってしまった。キリで穴をあけてもまた曲がる。釘をぬくときのもどかしさ、くやしさをたのや。最終的に大きな穴があいた枝にボンドをぬって固定した。ああかなしい。かなしい？くやしい。ざんねん、いやだ。子どもたちもこんな気持ちだったのか。家で穴をみるたびに今日の気持ちをおもいだすだろう。
- ・コリントゲームという題材のおかげで、本当に子供のように無心になって遊びに取りくむことができました。そして、子供の気持ちを同じように体験できたと思います。
- ・時間が差し迫った際、集中している時、などのリスクを体感。
- ・工作などは苦手な方だが、集中しているときは出来、不出来を全く意識せずに楽しむことができた。
- ・具体的な助言はありがたいが、評価の言葉は必要ない
- ・動きだすのに時間がかかってしまった。子供にも子供のペースがあるので、考えて声かけ等しなければと思った。あと少し緊張しました。
- ・つくること、没頭すること、子どもたちがプレステでどんなふうに乗っているか、そのほんの一部を味わいました。何をつくってもプレイリーダーに見守ってもらえるという安心感がありました。私もこんな子ども時代を過ごしたかったという切なさ？もすこしありました。これからのこりの人生をどう遊んでいこうか！何して遊ぼうかと改めて自分に問おてみます。

- ・集中してとても楽しかった。雨でもテントがあったので、外でできて良かった。
- ・自分で初めて作ってみて難しさがわかった。思い通りに出来ず残念でしたが、とてもよい経験になりました。

⑦ 改善した方が良くと思うことがあれば

- ・ The experience was done in group but is very focuses on doing somethings solo. Maybe something with more work cooperation
- ・ チームによって材料が違っていたので、選択肢がなかったのが残念だった。
- ・ 特にはないですが、A チームは作業台がとても低いものばかりだったのでちょっとつくりにくかったです。
- ・ もっと参加する人が増えてほしい。
- ・ はじめにコリントゲームの写真がいくつかあると、誘いやすかったと思う。
- ・ 思いつかないので、良かったと思うことを書いてみます。
- ・ テントのおかげで、雨を全く気にせず参加できました。
- ・ グループがあったことで、ただ個人で作るよりあたたかな時間をすごせました。ふりかえりがあったことも、今日の時間をよりよいものに感じさせてもらえました。
- ・ 準備ありがとうございます。
- ・ 特になし 10 人

⑧ 子どもの遊びに関して実習してみたいことがあれば（原文ママ）

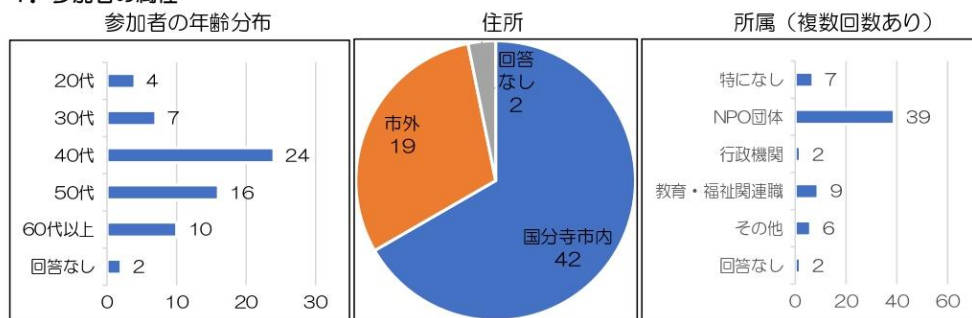
- ・ コリントゲーム以外の木工
- ・ 手作り工作、簡単に出来る工作など
- ・ さらに木工をやりたいです。
- ・ 木工、引っ張る車作りなど
- ・ 大型の制作、絵画、木工など。
- ・ ものづくり 何か
- ・ 作りものをしたい。
- ・ 革細工
- ・ ロープ&木を使った遊び。
- ・ ロープワーク
- ・ ロープワーク
- ・ ロープワーク
- ・ みんなで何かを作りたい。
- ・ グループで1つのものを作りたい
- ・ ひみつきち作り
- ・ からだをうごかすあそび。
- ・ 公園でどろけい
- ・ 火を使ったり、水を使ったり・・・の遊び。

- ・ボードゲーム。
- ・コマ回し（ベーゴマ含む）
- ・昔あそび（お手玉、あやとり、けん玉）
- ・昔遊びがあまり出来ないので、基本のけん玉やコマまわしなどをくわしく知りたいです。
- ・よもぎ団子づくり（よもぎあるかな、自生している）
- ・いも掘り、やき芋大会（直火はムリかな）
- ・子どもパンづくり（アレルギー問題がある）
- ・作業をしている子どもに対してフォローするタイミングを、子どもたちの状況と気持ちを意識して取り組んでみたいです。
- ・型にはまらない自由な遊び
- ・何でも！！
- ・遊びの発生を見たい
- ・若松以外をあまり知らない所以他ではどんな遊びをしているのか工夫しているのか興味はあります。

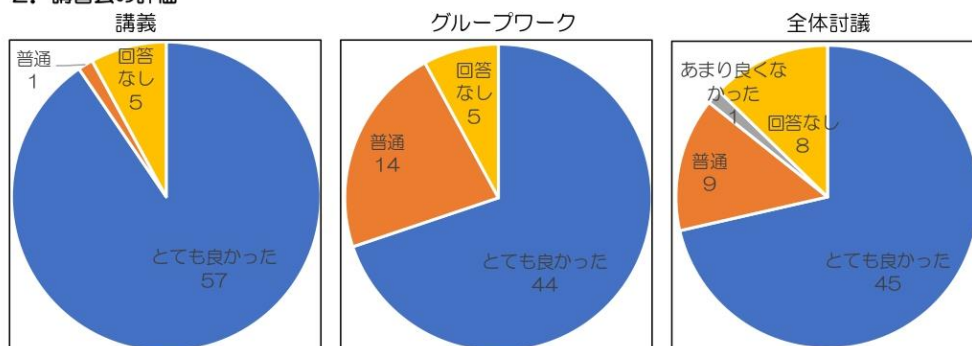
(2) 講義「子どもに必要なのは遊び？勉強？習い事？」

受講者のアンケートの結果 回答者数63名（参加者数 66名）

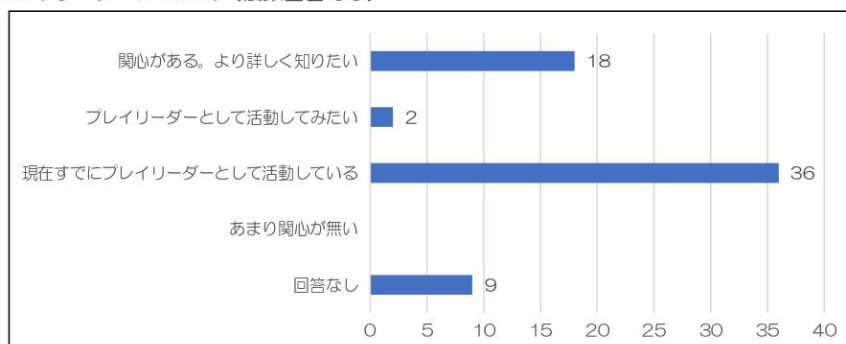
1. 参加者の属性



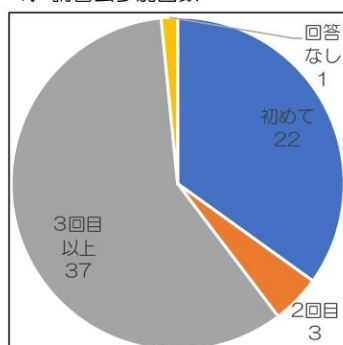
2. 講習会の評価



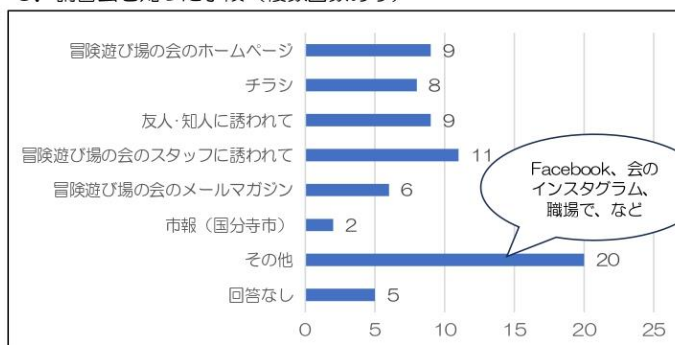
3. プレイリーダーについて（複数回答あり）



4. 講習会参加回数



5. 講習会を知った手段（複数回答あり）



⑥ どんなところが良かったですか

- ・子を観察する。→理解する→関わる（荒くれ者が来た時にいつもめんどうになっていたけど、関わり方を考えるよいキッカケとなった）
- ・プレイパークの存在の解像度が上がったこと。
- ・プレステの目指していることが伝わりとても良かったです。子供、ひいては大人の生き方（遊び方）を考えるきっかけになりました。頭がまだ整理できてませんが・・・。
- ・ゆうじさんの講義は、一本の映画を見たような充実感でした！
- ・色々な人の考えがきけて楽しかった
- ・ユウジさんの伝えたい思いがよくわかった。具体的な事例がありわかりやすかった。
- ・ご自身の経験・体験を基に具体的な話を聞くことができてとても良かった。仕事や家庭（子育て）などに少しでも結びつけられたらなと思いました。
- ・自分がこどもと接するときの軸を再確認できた。ユウジさんのお話を聞いてみたかったのでとても勉強になった。なかなか理解できない人にどう伝えるか。自分の課題であったが、背景の見立て、をするというのをやってみようと思う。
- ・グループワークで実際に話しやすいつくりになっていて良かった。
- ・様々な環境や立場、年齢の方々と、話ができた。共感したり、学びがあった。
- ・子どものことを考えた人の集まりで色々な話しが聞けた。ゆうじさんの話しは、共感することが多く、今後の活力になりました。
- ・むずかしい話でしたが、根本的で正直な話がきけたと思います。
- ・ゆうじさんの話が聞けて良かったです。ながいけどね。
- ・具体的な子どもの様子、対応、ゆうじ自身の話をきけたこと。興味深くひきこまれた。
- ・あそびを考える事ができた。
- ・わかりやすかった。例で、想像できた。
- ・子どもも大人も安心が必要、わかっているような気がしていたが今日話を聞いて自分の中で腑に落ちた
- ・仕事もあそび は気持ちが改たになった（原文ママ）
- ・子どものあそびについての柔軟な対応など
- ・現場に立っているワーカーが抱え、考えていることが言語化されていて、その答えに導かれるまでに、色々な思考があったんだろうな、と思い馳せれた所が良かったです！
- ・哲学的な話が聞けたのが良かった。もやもやが残る感じも宿題のような感じで、個人に投げられた課題のようで良かった。
- ・普段話さない属性の方々と議論することができて良かったです。
- ・自分の意見を言ったり、色々な方の意見を聞けたりしたことが良かったです。
- ・”全員に動機がある”という考え方、とても大切だと思った。＜大人はその方が良いと思って＝他の人と意見、周りを見てなんとなくやっている＞＜子どもは面白いから。やりたいと思って＝自分で決めて＞
- ・経験をもとに語ってくれているため、完ぺきに納得出来るかどうかは別としても説得力があった。
- ・ユウジさんの話がとてもわかりやすかった。

- ・「気持ち」についてグループ内でとりとめなく話をしていた、とくにまとめというところはなかったが、その分本音が聞けて良かった
- ・いろんな方と話せた事がよかった。講師の御話も今までの自分の考えと違うところもあり、なかなかおもしろかった
- ・いつも深く聞けなかった所もきくことができてよかった。1つの話題で皆で話できたこと。色々な立場の人の話をきくことができた。
- ・共感できることが多かった。できないかもしれないけど、知っていることで少しは実現できるかも。
- ・ゆうじさんのPLとしての在り方や思いが知れて良かった
- ・グループのみなさんが、ご自身の気持ちを率直に話してくださり、いろいろな思いを聴くことができてよかった。まとめる方向でなく、個々の思いをきけるのは貴重と思います。
- ・グループワークで話し合いができてよかった。
- ・まとめる必要がなく、それぞれの感じたことを話せて聞けたので
- ・グループワークでたくさんの意見が聞け、自分だけでない考えや悩みがみなさんから聞けたのでよかったです。
- ・全てをさらけ出した話にすごみを感じた。
- ・グループワークでいろいろな意見を聞けたこと。
- ・講義、グループワーク共に、おもしろく、興味深かった。困り事も対応をアップデートするとあそび、に共感でした。
- ・講義！含めすべてでした。講義☆とても良かった→御話にうなづいてしまいました、グループワークとても良かった→人前でしゃべるのがとてもニガテであせりまくりで本音の1割しかいえず。でも言えた自分にびっくり。60才代(ˆoˆ;))
- ・自身の経験や考え方を全面に出しての内容で共感しやすく分かりやすいと思った。
- ・講義がとても良かったです。現場で日々子どもたちとだいたいしている人であり、そのことを常に考えつづけているんだろなあという人の具体的な内容で、おどろくようなこともたくさんあり、しょうげきてきでもありました。
- ・今までなかなか話せなかったことを、じっくり話せたから良かった
- ・誰にでもニーズがある、という事を大事にしたいと思った。
- ・自分の考え（気持ち）を考えなおさせる時間
- ・ゆうじさんのお話しがとてもおもしろくて、本質的なことをきちんと伝えてくれてよかったと思った。目からうろこで、モヤモヤがたくさん出る異文化にふれているというふんいきがすごくよかった！！
- ・ゆうじさんが考えてきたことを思いきり言語化して共有してくれたこと
- ・いろいろな人がそれぞれ率直に自分の思ったことを出しているように感じられた。
- ・考えの共有ができたこと。
- ・具体的な事例を聴けて良かった。
- ・国分寺市の色々な立場の人の話を聞けた
- ・モヤモヤでみごとに終われた感じ
- ・ユウジさんの話しや考え
- ・普段の研修では、理想論のみが多いが、そこからの考えや動きがみえるところ

- ・講義の後にグループワークで思ったことや考えたことを話し合えたのがよかった。他の人の意見もとても参考になった。
- ・さまざまなことを遊びと考えると楽しくなること
- ・自分自身も全ての人を認めてもらえるようなあたたかさを感じました。全てが遊び 「なぜそれをしていいのか」 自分自身に問うてみたいと思います。子どももまるごとうけとめられそう！
- ・ユージの講演
- ・自分の気持ちを話すことができた。まとめなくて良かったところ。(まとめる事があると、自分の発言もまとめに向けて話さないといけないのでむずかしい。)

⑦ もっとこうした方が良いなど、課題があれば教えてください

- ・グループワークの時間がもう少しあればよいと思った。
- ・もっと時間が欲しい。ゆっくり話したい。色々な意見が聞きたい。
- ・子どもを尊重する、大切さを大人に伝える方法を知りたい
- ・グループワーク「えっ?!」そうは言っても・・・だけで話をするのは難しかった。
- ・グループワークでの話が短かった。ただ話ももう少し聞きたかった
- ・特にありません。
- ・深くて難しい話もあり、ついていけないこともあった。時間が限られているので、話し足りない人もいたかもしれない
- ・キレイごとに聞こえたり、どうしても抽象化してしまったり、伝えるってムズかしいですね。子どもに関わったことない人には伝わりづらいかと感じました。
- ・オンラインで広く話しが聞けるようにしてほしい
- ・発表や話し合いに題があると話し合いやすかった。
- ・今回は「男性」や「20代」がマイノリティで各グループ少しずつだったが、あえて同じグループにしてみても面白いかもです。
- ・時間を増やすか、日程を増やすか・・・難しいですね。
- ・市内の保育施設、幼稚園、学校(教員)、子どもに関わりがある方達の参加があると良いなと思います。
- ・初めて参加の人だと、今、何を話しているのか(テーマ)が見えなくなった。
- ・ありません
- ・講師が2人いて、討論方式もおもしろいかも
- ・グループワークは少し難しかった。時間が短い
- ・16:30で帰れるとよかった。
- ・他の団体や専門家を呼ぶ
- ・グループでもう少し話したかった。
- ・全体討議とても良かった、でも時間が足りなかったのが残念でした。
- ・このような機会がもっとあれば・・・と思います
- ・特になかったです。
- ・グループワークの”問いかけ”がちょっと考えにくい問いだったので、”問い方”をもう少しグループワークしやすいことばにした方がいいと思いました。何を考えればいいのか、あまりよくわからなかつ

たので。

- ・プレイパークよりお金がかからない青空システムが広まっていったらいいなあ
- ・グループワークの時間がもう少し長いと嬉しいです。
- ・ゆうじさんの話をテーマを絞ってもっと伺いたかった。
- ・テーブルで話す時間がもっと1回あってもよかった
- ・全体討議は、むずかしい。全体なんだけど、出た意見に対する解説のような印象
- ・プレイリーダーの要件定義。求められる知識等が定義されるとよいと思いました。
- ・議事録が大変そうだった。奥富さんがよく話すので、LLMなどに頼ってもよいと思った。
- ・議題が広がるテーマの場合、収集やまとめに時間を掛ける又は初めにまとめを意識させる声掛けが欲しかった。
- ・外部からの参加者（いろいろな立場、職場の人）の意見のやりとりがもっとあってもおもしろい。参加者同士の意見交換。
- ・ミクロをもっとマクロに
- ・今回、オンラインできけるとたくさんの人がきけてよかったと思った。
- ・ユージのレベルが高すぎる。みなさん、ユージほど賢くないよ。

⑧ 子どもの遊びや居場所について今後どのような講習会を開催してほしいですか

- ・子どもの居場所と遊びのバランスが崩れるとプレーパークとして成り立たないと PL に言われてからずーっと考えてます。
- ・社会とのつながり方について知りたい。（子どものあそびと）
- ・託児付きで開催して頂けると夫婦で参加できるので嬉しいです。
- ・1回目は参加しなかったのですが、講習会自体もっと回数を増やしてもらえると嬉しいです。
- ・このような考え方の中で育つ子どもが増えてほしい。
- ・先パイ方の話が聞きたい。こんなときどうする?? 様々な対応を知って成長したい。
- ・交流が深まるよう WS もあると嬉しい。（横のつながりができるような）
- ・まだ続きをききたいので次回が楽しみです。
- ・PLに必要な実せんをして欲しい
- ・遊びの引き出し。多様な子どもへの対応のしかた
- ・他の遊び場の状況や運営について知りたい
- ・外あそびの種類・居場所の作り方
- ・関東のプレイワーカーと、国分寺の子ども関係者とかとお話し会とかしたいですね！
- ・子どもたちを中心として、大人が話を聞く会があってもいいかもしれません（どんな遊び場、居場所がほしいなどの話を子どもたちから聞く）
- ・今回のように学術的に「遊び」を捉えること、事例、それぞれの意見交換とバランスよくインプット、アウトプットできる会だといと思います。
- ・お母さん達が参加できるようなしくみ作りをお願いしたいです。
- ・実演（ロールプレイ）やってみるともっと色々な意見が出ておもしろいと思います。
- ・子どもとの接し方について。現場レベルでの知識を習得するための講習会があるとよいです。

- ・このままフリースchool的！！的？？になったらいいですね。
- ・同テーマを年1回で続けると良いのでは、と思いました（同グループの方が「一度聞いても自分の活動にすぐ反映できるとは限らない」と嘆いて（？）いたので）
- ・夫婦で参加できる講座がほしい
- ・他のプレーパークの様子も聞きたい。
- ・子ども（遊びにきていない子も）をまじえての講習会
- ・今現在の子どもの遊びに来ている人数や年齢、母たちとの上手な関り方などを知りたいです。
- ・7月の後半戦を楽しみにします。
- ・工作などの遊びの講習（実践）
- ・「プレーリーダー」の生き方、働いていく中でのマインド
- ・心理学的なこと。
- ・他団体とのまきこみ方。
- ・国分寺以外のプレイパークの人の話も聞いてみたい。
- ・大人があそぶ講習会
- ・増やすこと。
- ・プレイリーダーや大人に向けた内容
- ・実際の遊び場
- ・ゆうじさんの話をたくさん聞きたい。
- ・ユージのお話をたくさん聴きたい
- ・遊び場を増やしたい人、もっといるかも？仲間を増やす講演会。

⑨ 感想

- ・私には出来ないな・・・ではなく、今日考えるキッカケになった事を自分なりの形で実践していきたいです。遊びが苦手だけどそれすらも遊びに変えて・・・笑
- ・ゆうじさんのお話がとてもおもしろかったです。学校の中での「遊ぶ」について、「遊びながら」考えていきたいです！
- ・自分が遊びを定義して、与えてしまっていたのでは、と考えなおさなくてはと思いました。
- ・こうした会を定期的に開催して下さること、ありがたく思います。続けていけますこと、よろしく願いします。
- ・夢中になってあそびきった子どもたちは、次に進んでいけるのだと感じています。あらゆる情報が得られる中、何を選択するのかは、それぞれだと思います。
- ・日々、何を考えて仕事するのか良いふり返りになった。具体的なアドバイスが欲しい場面で、社会的なあり方のような、言葉の定義のような話になって少しくわからなくなりました。
- ・とても有意義な時間でした。次回もぜひ参加したいと思います。
- ・すごく勉強になりました。7月もたのしみにしています。
- ・プレイリーダーは、以前から気になっていた。自分も、他の人もありのまま尊重される社会になったらと思っている。そんな場所がもっと増えて欲しい。
- ・人数がたくさん居たのでこんなにプレーパークについてかんがえている人がいるんだとかんじました

- ・お疲れさまです。是非他の場所でも話をして広げてほしい。
- ・グループ内に色々な方がいたので、色々な考え方や、経験を聞けて参考になりました。
- ・すべてを遊びだと思い、楽しくできるようにしていきたい。意味がわかるからルールを守れる人に子どもたちが育ってくれるように自分自身も行動していきたい
- ・いつも参加を楽しみにしています。参加するたびにいろいろな気づきがあり、励みにもなってます。
- ・ゆうじさんのお話は、はっ！とさせられる言葉が多く、大人が変わらなくてはと思える説得力がありました。講習会を企画運営ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。プレーリーダーさんたちは日々色々なことを考え、見守って下さってるんだと知り、とても感謝です！
- ・「子供」のことだけでなく自分自身もみつめる時間になりました。
- ・とても良かったです。ぜひ日本人の意識を変えていって欲しいです。
- ・講師の話聞き、自分の思い（気持ち）の現状、モヤモヤしている事（またモヤモヤしたこと）、改めて考えてみるきっかけになった。正確はないが、自分なりに考え、自分で決める（選択する）ことを考えてみようと思えた。
- ・色々な意見や考え方があり、自身では考えないようなこともあり勉強になりました。
- ・プレイリーダーさん、みな様本当にありがとうございます。
- ・自分のことや子どものことを考える上でさらに自分の環境も考えたりと頭がつかれた。
- ・親が親自身のコンプレックスを私の受験に投影してとても苦しみました。勉強の話題のときにこのことを言っておさまりほっとしました。家事めんどくさいけど、自分で選んでるのかも・・・？！遊び直しや遊びの視点を入れたらまたかわるのかな・・・と思いました。
- ・自分以外の立場の人の意見が聞けてよかった。
- ・奥富さんのお話がとてもわかりやすく聞きやすく良かったです。
- ・最後の方、質問もこたえも難しかった。次もつながると聞いてホッとした。
- ・初めての参加です。えっそうは言っても私のキモチは・・・というコトバをずっと仕事含め、子供相手家庭etc・・・外に感じていました。泣。But 裕司氏の講義を共感しなく長年のモヤモヤがスッキリ本当はこう思う 本当はこうしたい してほしい 子供のHelp 光線を深けん遊び通じてキャッチしたい できれば！と思いました 新めて。 いい事思いついた！！ 1日何度このコトバを連発していただろう！！ 子供の頃 なぜ今は？！雑念は本音をわからなくする！？（原文ママ）
- ・ことばって、正確には伝わらないのでムツカシイですね。
- ・仕事へのかかわり方はそれぞれでももちろんよいよね～。
- ・もっと話ができれば良いと思うが、ゆうじさんと話をするのはきんちょうするし、話づらい。いつか飲みの時などあれば話したいです。
- ・すべて遊びでいい、は私なりに自分のモチベーション 内的動機を大事にしようというメッセージとうけとめました。
- ・このぐらい集まって、単純によかったと思う。
- ・遊びを支える人を支える仕組みが必要だと思いました。
- ・また次回も参加します。
- ・プレイリーダーの方々の熱意と苦労を感じた。

- ・遊びをテーマにした話、とてもよかった。深さをあらためて感じた。
- ・あそびと考えると気も楽になり、心ゆたかになった。安全を守りつつ努めていきたい。
- ・仕事や家庭のストレスがあるのでプレステでダメ言ったり怒ったり、してしまう。仕事や家庭のストレスを無くすのは、ムリなので、プレステでユージミたく余裕を見せるためには、どこかストレス発散する方法を探すことにしたよ。ユージありがとう

4 全体として

添付したアンケート結果から、参加者の満足度は第1回フィールドワークは「満足・どちらかというと満足」が100%、第2回講義では90%と両方とも高い数字だった。

第1回のフィールドワークではプレイリーダーに「関心がある」としたのは、すでにプレイリーダーとして活動している人以外の15人中8人、第2回の講義では「今後プレイリーダーになりたい」「関心がある」と答えたのは、すでにプレイリーダーとして活動している人以外の29人中20名と、関心の高さも目立っていた。

本事業は、プレイリーダーという仕事に関心を持ってもらい、遊び場などで活躍する人材を養成することが大きな目的となっている。また、市民に子どもの遊びに関心を持ってもらい、遊びを温かく見守ってもらえるようにしていきたいという狙いもある。

そういう意味で、第1回では体験的に子どもの遊びを学んでもらい、第2回では遊び場の実態をプレイリーダーから学んだことで、遊びやプレイリーダーへの関心を呼び起こすことができたと言える。

国分寺市プレイステーション 利用者アンケート（子ども版）

令和6年度 回答108 11月1日～30日

学年（年齢）	小学1年2年	3年 4年	5年 6年	中学生	高校生	その他	無回答	
	24	36	28	13	0	3	4	
性別	男	女	その他					
	76	30	2					
住所	国分寺市	小平市	小金井市	立川市	国立市	その他（府中市2）	無回答	
	90	12	0	0	0		4	
はじめて来たの？	はい	いいえ	無回答					
	7	100	1					
楽しかったですか	はい	いいえ	無回答					
	105	1	2					
何楽しかったですか	シャボン玉 スライム作り	穴掘り 泥遊び 水遊び	こま ベーこま	ひみつ基地 づくり	火の体験	おしゃべり	室内あそび	鬼ごっこ
	10	15	5	18	36	32	34	19
	工作 （弓矢ふくむ）	山で遊ぶ	生き物 さがし	すべり台	その他 仕事 くぎさし だがフレ ぶらんこ 食べたこと（いち 豚汁 パン） スケボー ゲーム 夕暮れカフェ 勉強			
	34	13	4	45				
プレイステーションでは どんな遊びがしたいですか	基地作り	木工工作 （弓矢ふくむ）	穴掘り	泥遊び	手芸 （毛糸や布や革など）		陶芸	
	25	18	21	8	9		8	
	水遊び	釘ナイフ	くぎさし	どろだんご 作り	こま ベーこま	火おこし	ごはん作り おやつ作り	
	13	29	27	7	6	34	34	
	ブランコ	すべり台	スケート ボード	虫とり	まんが			
	24	21	14	7	26			
	本	ボード ゲーム	トランプ	カード ゲーム	おしゃべり	卓球	工作	
	15	20	16	27	16	23	19	
	その他							
大人のスタッフ（プレイリー ダー）はどんな感じでしたか	よい	悪い感じ	無回答					
	105	2	1					
また来たいですか	はい	いいえ						
	106	2						
なにかいやなことが ありましたか	・うまいぼうが15円になったこと ・品揃えをしっかりとってほしい（ビッグカツがなかった）							
プレイステーションが 安心してすごせる居場所に なっていますか	そう思う	まあそう思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	無回答			
	85	17	0	3	3			
だがフレで買い物をしたこと はありますか	はい	いいえ	無回答					
	97	10	1					

だがブレでまた買い物 したいですか ですか	はい	いいえ	無回答
	96	10	2
だがブレで お仕事体験はしてみましたか	はい	いいえ	無回答
	68	38	2
だがブレのお仕事体験は 楽しかったですか	はい	いいえ	無回答
	67	28	13
だがブレのお仕事体験を またしてみたいですか	はい	いいえ	無回答
	68	29	11
カフェドーにっちを利用した ことがありますか	ある	ない	無回答
	38	65	5
ドーにっちでお仕事体験 してみたいですか	はい	いいえ	無回答
	52	48	8

- 言いたいことがあれば書いてください
- ・月曜日も開けてほしい。夕暮れだけでもいい
 - ・火曜日をやめて月曜日をやってほしい（2）
 - ・だがしやにプリペイドカードがほしい
 - ・毎日やってほしい
 - ・ここ楽しい（2）
 - ・だがぶれのお菓子をもう少し安くしてほしい（2）
 - ・カルパス普通12円なのに20円？カルパスだけで利益をだしていうざい
 - ・Nゲージがほしい
 - ・7時まで遊びたい
 - ・ジュース100円にしてほしい
 - ・プレステが大好き
 - ・楽しい場所
 - ・駄菓子を買いたかったがお金を忘れた
 - ・だがブレのお菓子を安くしてほしい（2）
 - ・だがブレのバイト代を40円にしてほしい
 - ・うまいぼうを10円にしてほしい
 - ・マイくきがほしい
 - ・楽しく安心して過ごせる

年齢	18歳～20歳代	30歳代	40歳～60歳	61歳以上	無回答					
	1	50	53	3	8					
性別	男	女	その他	無回答						
	34	78	2	1						
住所	国分寺市	小平市	小金井市	立川市	国立市	東村山（1） 所沢（1） （5） 西東京（1） その他（1）	東久留米（1） 三鷹（1） 府中 江戸川区（1）			
	79	16	3	3	2					
利用頻度	初めて	年数回程度	月1回程度	週1回程度	週に何回も	無回答				
	15	40	31	19	9	1				
来るきっかけ	友だちに誘われた	ホームページ ブログ	口コミ	市報 パンフレット	チラシ	他の遊び場で 紹介	その他	無回答		
	34	14	8	8	4	16	34	1		
お子さんの年齢	幼稚園前	幼稚園	小学1、2年	3、4年	5、6年	中学生	高校生	無回答		
	43	58	30	19	8	2	0	1		
楽しかったですか	はい	いいえ								
	115	0								
どのような遊びが いいと思 いましたか （子どもの遊 び）	シャボン玉 スライム作り	穴掘り 泥遊び 水遊び	こま ベーこま	ひみつ基地 づくり	火の体験	おしゃべり	室内あそび			
	38	64	13	20	43	16	42			
	34	4	16	36	その他 くぎさし 三輪車 ままごと プランコ 絵具 焚火 輪投げ お仕事体験 味噌汁 作り					
大人のスタッフ（プレイ リーダー）の対応は良か ったですか	良い	良くない	無回答							
	111	0	4							
だがブレを利用したことは ありますか	はい	いいえ	無回答							
	78	36	1							
だがブレのお仕事体験に 興味はありますか	はい	いいえ	無回答							
	79	32	4							
カフェドローにちちを利用し たことがありますか	はい	いいえ	無回答							
	48	65	2							
どーにちちの 利用のきっかけ	友だちに聞いた	ホームページ	インスタグラム	市報	チラシ	その他（2） た（1） 現地（17） 近 所（1）	親から聞いた		無回答	
	15	9	7	2	2	21		59		
どーにちちを誰と 利用しましたか	夫婦	友だち	ひとりで	その他 族から聞いた（4）	祖父母（2）	子どもから聞いた（6）	家		無回答	
	20	15	16	12					55	
プレイステーション、 どんどこ、だがブレ、 どーにちちで ボランティアを募集してい ることはご存じですか	はい	いいえ	無回答							
	47	64	4							
ボランティアをしてみたい ですか	はい	いいえ	わからない	無回答						
	29	42	40	4						
ご意見・感想・提案などあれば記入してください										
別紙										

【ご意見】

- ・不登校の子どもがお世話になっています。楽しく自由に過ごせる環境がありがたい。
- ・プレステは子どもの体と心の健康のためにももっと利用していきたい（不登校なので居場所としてありがたい）。冒険たまごの時代から今まで母にとっても安心の場所。プレイリーダーもプレステも国分寺の宝だと思っている。
- ・子どもが喜んで遊んでいる姿を見られたので来てよかった。また友だちと来ます。
- ・子どもがいろいろ自分で考えて遊べる環境はとても良いと思う。
- ・日常できないことを体験できてありがたい。親から離れた場所で体験することに子どもが喜んでいます。成長させていただいてありがとうございます。
- ・子どもが楽しんでいて本当に助けられています。
- ・子どもたちがのびのび遊べる場を作っていただきありがとうございます。
- ・近所にこのような場所があり助かっている。
- ・小3の息子が公園に行っても誰もいないことがありしょんぼりしていた。ここに来ると誰かいて一緒に何かできるのを楽しみにしている。板に色を塗ったりのこぎりを使って切ったり家ではできないことを気軽にできるところがありがたい。
- ・スタッフが明るく子どもや大人も楽しみました。
- ・子どもがプレステが大好きで友だちと来た時も一人で来た時も楽しくすごしています。
- ・いつもありがとうございます（多数）
- ・こどもだけで行ける距離にプレステのような場所があったらいいいつも思っています。小平でも常設の遊び場が生まれるよう、この良さを広めたいと思います。
- ・子どもが主体となって体験できるとことが良い。
- ・子どもが大変楽しんでいる（多数）
- ・火でいろいろできるようになって楽しみが増した。
- ・スタッフがいたので子どもだけで安心して遊ばせることができ、感謝している。
- ・こどもも親にとってもいい気晴らしになっている。
- ・子どもの自主性を尊重するよい場だと思う。
- ・外でアクティブに遊んだ後にお昼休憩し室内で遊ぶ流れでいつも利用している。長時間子どもが満足するまで遊べてとてもありがたい。スタッフの気遣いがいつもうれしい。
- ・のびのび遊べる場所が少ないのでいつも楽しく利用させてもらっている。（多数）
- ・家ではさせてあげられないことをここではたくさんできるので助かります。体づくりができるものがあるとうれしい。平均台など
- ・火起こしや調理が気軽にできるようになって大人も楽しめるようになってコミュニティが広がりそう。どろんこになって遊べる場所なのでこれからも遊びに来ます。シャワーがありがたい。
- ・引っ越してきばかりで車で走っているときに見かけて入ってみた。子どもたちが楽しそうです。
- ・こどもの職業体験のシステムが素晴らしい。WINWINの企画が増えたらいいと思う。
- ・子どもが喜んで遊んでくれてパパもうれしい
- ・子どもが多いので一人で見きれないとき利用します。スタッフにたくさん助けてもらってありがたい。利用時間が15分でも30分でも早く開始してもらえたらありがたい（昼寝やお迎えの時間の都合で）
- ・所沢そうきばやしのプレーパークのスタッフです。初めてなので落ち着く居心地よい空間、いろんな世代が安心して遊べる場所なのが見てわかりました。学びに遊びにまた来ます。
- ・他の場所ではできないダイナミック遊びやこどものやりたいを大切にできる環境に親子でワクワクして楽しく安心してすごしている。素晴らしいこのような場にもっと税金が使われるといいなと思います。
- ・ぶんバスの停留所ができてほしい。市内の子どもみんなが利用しやすいようになってほしい。
- ・子どもが家とは違った一面をたくさん見せてくれてスタッフのサポートにより遊びの幅が広がっている。親も子育てのちょっとした悩みも相談できとても助かっている。
- ・家や公園でもできない土遊びを、着替えができる場所があるので有難い。室内遊びやカフェもあって親も子も息抜きしながら楽しめて本当に助かっている。
- ・いつも優しく楽しくよくしてくれるスタッフばかりで親子で大好きな場所です。土日もやっているんで助かります。子どもが慣れた場所なので託児もあると助かる。絵具イベントやシャボン玉イベントがあるとうれしい。
- ・近所でここのように自由にのびのび遊べる場所がなく、利用しています。材木で工作したり泥んこ遊びをするのが大好きです。プレイリーダーがちょうどよい加減で見守ってくれるのがありがたい。
- ・大人のスタッフがいたので利用しやすい。
- ・だがプレの仕事体験に子どもが興味を持っています。
- ・長ぐつ貸し出しがありがたい。
- ・三輪車に乗った事がなかったので楽しそうだった。
- ・室内ではマンカラやオセロが好き。
- ・家にはないおもちゃや外遊びがたっぷり楽しめるのでありがたい。子どもが大好きで行きたいとよく言います。これからも通います。
- ・火起こしにはまっています。
- ・穴掘りはできるところが少ないので大きな穴を掘るのが楽しいようです。スタッフがいたので安心して遊べる。
- ・孫と一緒に来たが、とてもいいところ。また来ます。
- ・気軽に外遊びができて室内でも遊べて満足です。友だちと来てもおしゃべりしながら子どもを遊ばせられるので気分転換になる。
- ・外遊びの場所が広いのでのびのび遊べてとても良い。
- ・普段できないことができて助かっている。
- ・このような場所がいつまで続くことを祈っている。
- ・休みを（月）から（火）にしてほしいと子どもが言っています。
- ・月曜日も開いてほしい
- ・日曜日にもう少し開いてもらえるとありがたい。
- ・作物を育てたらよさそう
- ・室内に工作部屋があってもよさそう。
- ・小学生向けの性教育講座があるとうれしい
- ・寄付を募る活動を通年でしてもいいと思う。

2024年度アンケートへのお返事

みなさんからのご意見

【ご意見】：家ではさせてあげられないことをここではたくさんできるので助かります。

からだ
体づくりができるものがあるとうれしい。平均台など

平均台は、子どもの体幹が鍛えられますね。ただ、角材がなかなか手に入らないんですよね…
かうと高いし。個人的にはプレステで走り回る子は相当体幹が鍛えられるかとおもいます！

【ご意見】：火起こしや調理が気軽にできるようになって大人も楽しめるようになってコミュニティが広が
りそう。どろんこになって遊べる場所なのでこれからも遊びに来ます。シャワーがありがたい。

プレステは、市の社会教育施設として、“子どもの火おこし体験”を提供しています。
この意義を損なわずに、“大人も一緒に火を楽しむ。初めて利用する親子と子どもが同じ火を囲む”。

そんな思いやりが行き交うコミュニティが作られる事を期待しています。

【ご意見】：こどもの職業体験のシステムが素晴らしい。WINWINの企画が増えたらいいと思う。

プレステに来ている一人ひとりの子どもを、もれなく全員大事にするためにベストを尽くします。

子どもの人権を尊重するという事は、一人の人間として認め合う事だと思っています。

一方的なサービス提供ではなく、利用者とのwinwinの関係を目指して、企画をまいります。

【ご意見】：子どもが多いので一人で見きれないとき利用します。

スタッフにたくさん助けてもらってありがたい。利用時間が15分でも30分でも

早く開始してもらえたらありがたい（昼寝やお迎えの時間の都合で）

プレステオープン時間が、たとえば9時半になる事をご希望ですか？

昼寝やお迎え、大変ですね。

現在プレステは、多くの子ども達の要望により、

へいじつ 10～18時までの開 場（中学生以上は8時まで）となっております。

ご意見について、市に報告いたします。

【ご意見】：他の場所ではできないダイナミック遊びやこどものやりたいを大切にできる環境に
親子でワクワクして楽しく安心してすごしている。

素晴らしいこのような場にもっと税金が使われるといいなと思います。

ありがとうございます。

すべての子どものために、ベストを尽くしたいと思います。

ご意見について、市に報告いたします。

【ご意見】：ぶんバスの停留所ができてほしい。

市内の子どもみんなが利用しやすいようになってほしい。

ありがとうございます。ご要望を、市に報告いたします。

【ご意見】：「いつも優しく楽しくよくしてくれるスタッフばかりで親子で大好きな場所です。

土日どにちもやっているんで助かります。子どもが慣れた場所な ばしょなので託児たくじもあると助かる。

絵具えのぐイベントやシャボン玉だまイベントがあるとうれしい。

託児たくじについてのご意見、市しに提案ていあんいたします。

絵の具えのぐ、シャボン玉だま、など、目的もくてきがはっきりしているイベントがあると、

遊びあそびに入りやすいですか？ご意見、検討けんとうしてまいります。

【ご意見】：休みを（月）から（火）にしてほしいと子どもが言っています。

【ご意見】：「月曜日げつようびも開いてほしい。」

私わたしも、子どもから火曜休みかようやすにしてほしい、と聞いた事ことがあります。

ご要望ようぼうに関して、市しに報告ほうこくいたします。

【ご意見】：^{いけん}日曜日に^{にちようび}もう少し^{すこ}開いて^あもらえるとありがたい。

^{げんざい}現在、1、3、5の^{しゅう}週の日曜日は、^{きゅうじょう}休 場 しております。

^{ようぼう}要望^{かん}に関して、^し市に^{ほうこく}報告いたします。

令和6年度親子ひろばアンケート結果

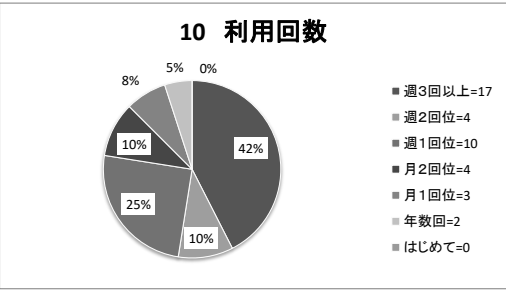
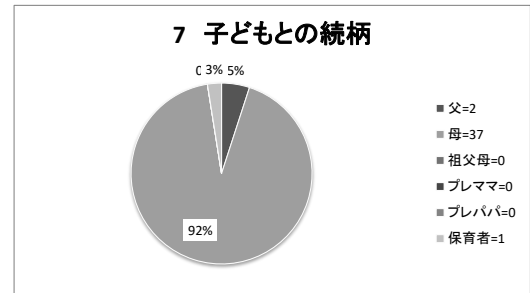
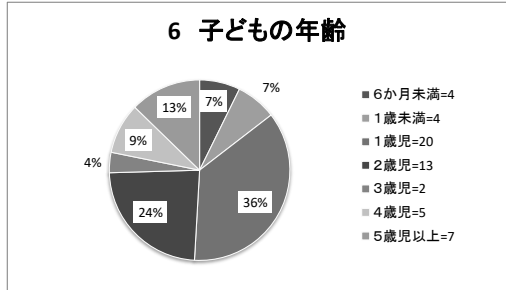
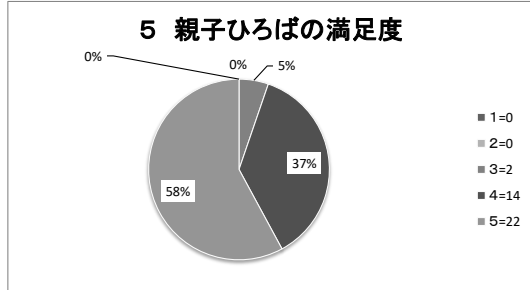
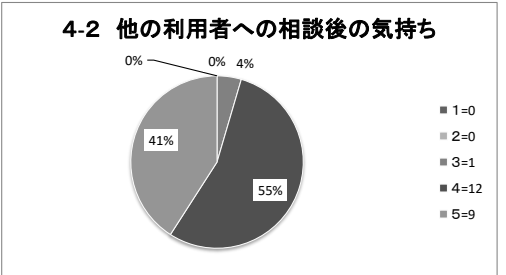
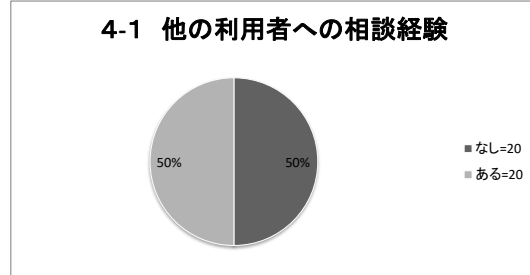
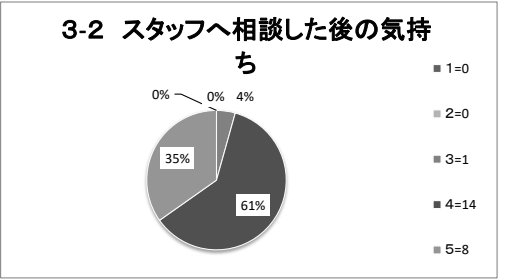
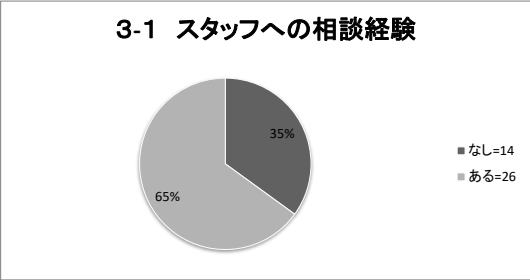
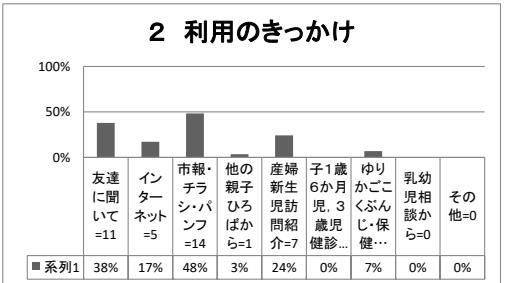
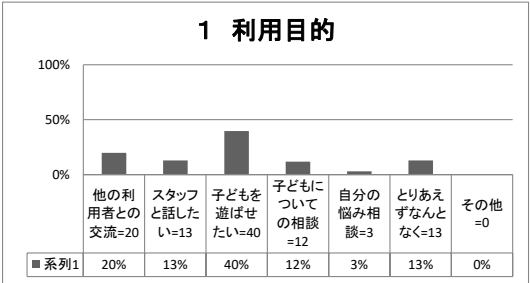
令和6年度親子ひろばアンケート結果

令和6年度国分寺市親子ひろば事業アンケート					実施期間 令和6年9月1日(金)～30日(土)				
今後のよりよい事業運営のため、アンケートにご協力ください									
※本日の利用のひろばについて、下記の項目のうち当てはまるものに○を、その他を記載された方は、()内に内容を記入してください									
1	利用目的は 何ですか？	1 他のお母さん との交流	2 スタッフと 話をしたい	3 平日も 遊びたい	4 子どもと ついでにの遊び	5 自分の 悩みを相談	6 悩みを 相談したい	7 悩みを 相談したい	8 悩みを 相談したい
2	利用の きっかけ	1 友達に 誘われて	2 インター ネットから	3 市報・チ ラ・パン から	4 市の親子 ひろばの 紹介	5 産婦新 生児訪問 紹介	6 市の親子 ひろばの 紹介	7 市の親子 ひろばの 紹介	8 市の親子 ひろばの 紹介
3	今年スタッフに 相談したことがある	1 なし	2 ある	3 ある	4 ある	5 ある	6 ある	7 ある	8 ある
4	今年他の利用者 に相談したことがある	1 なし	2 ある	3 ある	4 ある	5 ある	6 ある	7 ある	8 ある
5	ひろばに対して、どのくらい満足していますか、お返事で教えてください (○はひとつ)	1 満足	2 満足	3 満足	4 満足	5 満足	6 満足	7 満足	8 満足
ここからは、本日の利用のお子さん(妊娠中の方は、お腹のお子さん)と家族について、おきます。									
6	お子さんの年齢を教えてください(○はひとつ)	1 6か月未満	2 1歳未満	3 1歳児	4 2歳児	5 3歳児	6 4歳児	7 5歳児以上	
7	お子さんからあてのめられた相談を教えてください(○はひとつ)	1 父	2 母	3 祖父	4 プレママ	5 プレパパ	6 保育者 (幼稚園・保育園)		
8	家族内のお子さんの人数を教えてください	1 1人			2 2人			3 3人以上	
ここからは、自分や市内の親子ひろばについて、おきます。当てはまるものに○をしてください									
9	市内親子ひろばの利用頻度を教えてください(○はひとつ)	1 週1回以上	2 週2回以上	3 週3回以上	4 月2回以上	5 月1回以上	6 年に数回	7 はじめて	

【別紙4】

回答数
40

質問 8	質問 9
お子さんの人数 (平均)	妊娠している
1.45	3



12. お気づきの点・ご感想など(回答書)

プレイステーション親子ひろば「BOUKENどんどこ」

- スタッフさんも利用者さんも優しく、私も子どもも楽しく通っています。親子ひろばのおかげで毎日楽しく育児ができています。いつもありがとうございます！
強いて言うなら、親子ひろばの数と利用時間、イベント数を増やしてほしいです。

⇒いつもご利用ありがとうございます。イベントについては楽しいものを増やせるように努力します。利用時間についてはプレイステーションの1階と外エリアが平日18時までやっていますのでご利用ください。親子ひろばの数については市に要望を伝えます。

- いつもお世話になっております。どこの親子ひろばも優しいスタッフさんが迎えてくださり、子どもにとっても私自身にとっても楽しい時間を過ごさせていただいております。今後ともよろしくお願いいたします！

⇒いつもご利用ありがとうございます。いつでも遊びにきてください。

- 講座等の講師が「パパも参加している」ことに対する理解が低い方が多い。ただでさえ父親は少数派で参加しにくいので、なるべく対等に扱って欲しい。

⇒事前の打ち合わせで、父の参加や配慮について、スタッフが伝えておくべきでした。
今後、伝えていきたいと思います。

- いつもプレイステーションに伺っております。スタッフさん達が知識が豊富でとても親切で、それぞれの親子に寄り添ったサポートをしてくださるのでとても感謝しています。子どもも遊びたい！お友だちやスタッフさんたちに会いたい！と意思表示しており、毎日のように通っております。国分寺での育児生活が充実したものと感じられるのもプレイステーションさんのおかげと日々実感しております。

⇒とても温かいお言葉をありがとうございます。
これからもスタッフ一同、親子それぞれに寄り添ったサポートができるようにしていきたいと思います。

- 利用したい日に定休日だと残念に思うことがあります。

⇒ここが休みの時に他でやっているところなど情報をわかりやすくお知らせするなど努力していきます。

- 夏の暑い時期、外で遊ぶことが出来ないのも、親子ひろばで遊ぶことができて助かりました。

⇒夏はとても暑さが厳しかったですね。室内でもエネルギー発散ができる広さがあるので、今後もぜひご利用ください。

- 元々はどんどこやプレイステーションを利用していましたが、引っ越しして北町親子ひろばが近くなったので2月から行っています。小規模で、大人数が苦手な息子にはピッタリで、どんどこよりものびのびしています。小規模のところも無くさないで続けてもらいたいと思います。スタッフが息子の成長と一緒に感じているのでそれがとても嬉しいです。

⇒お子さんに合った場所が見つかってよかったです。親子ひろばの選択肢ができることは大事ですね。

サービスはとっても満足しています。妊娠中のため、こどもがはしゃいでる状態についていけません。そんな中スタッフの方が親身になってくれて、助かりました。

- でもやっぱり身体が辛いので、親子広場で一時保育みたいな制度があると大変たすかります。

国分寺市は、ただでさえ一時保育が全く利用できない状態なので、親子ひろばを使ってみたらどうでしょうか。

⇒親子ひろばで一時保育ができると安心ですね。市に要望を伝えます。どんどこではあずこっこという仕組みがあるので、やってみたいと思われる方にぜひ利用してほしいです。詳しくはスタッフまたはHPをご覧ください。妊娠中や体調が悪い時はなるべくスタッフがフォローをしたいと思っています。頼ってください。

ほぼ毎日利用させていただきありがとうございます。アプリやLINEやインスタなどで混雑状況がわかるようになると、混んでいる時間を避けて遊びに行けたりするのでとてもありがとうございます(府中市の支援センターたちのように)。

⇒どんな方法があるかスタッフ間で探してみたいと思います。12時以降になると空く日が多いです。比較的、火曜日以外の午後はすいていることが多いです。

いつもよくしていただき、感謝しています。施設の方と話すことが出来ると母も気分転換になり、子供も家にあるおもちゃでは飽きているので機嫌よく遊んでくれます。また土曜日などに上の子も一緒に行った際には、それぞれ違う遊びをするのでワンオペだと目が行き届かない点があるのですが、施設の方がフォローしてくださってとっても助かっています。子供を連れて無料で遊びに行けるところは本当にありがとうございます。どんどんこうゆー場所が増えて欲しいと思っています。子ども相手の仕事は気を使うところもたくさんあり、大変だと思いますが、本当に助かっていてこれからもたくさん利用させていただきたいと思っています。いつもありがとうございます。

⇒温かいお言葉をありがとうございます。スタッフの励みになります。これからもたくさん遊びに来てください。

- ・どんどこ・おもちゃやおもちゃ箱が埃や髪の毛だらけで不潔。・16時閉館は早すぎる。

⇒掃除や消毒をこまめにしていますが、気が付かない場所があったかもしれません。不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。清潔な場所で気持ちよく遊んでいただけるように努力します。

- ・16時にどんどこは終わりますが、プレイステーション(1階と外エリア)は平日は18時までやっているのでぜひご利用ください。

⇒プレイステーションの1階と外エリアは平日18時までやっています。ぜひご利用ください。

利用者懇談会（子ども版）

日時:令和7年3月21日（土）11:00～12:00

参加者: 子どもたち10人、プレイリーダー4人

作ってほしい要望

○駄菓子屋への改善要望が多かった。

- ・ Suica 決済の導入
- ・ コーラの販売（特にペプシ）
- ・ ウォーターサーバーの設置
- ・ チューペットの販売（当たり付き）
- ・ 冬向けの温かい飲み物（ホットレモンなど）の販売
- ・ ホットスナック（肉まんなど）の販売
- ・ 自動販売機の設置
- ・ ポケモンカードのパック販売
- ・ Uber Eats の導入
- ・ カフェメニューの充実（ホットケーキ、ガトーショコラなど）
- ・ カップラーメン、冷凍ハンバーグ、寿司等の販売
- ・ 駄菓子屋の2階建て化

○基地エリアの利用制限緩和

○釣り堀の設置

○木材の充実（特に板材、柱材）

○基地に関して

- ・ コンクリートの壁の設置
- ・ 材料（タイヤ、木材）の充実
- ・ 基地の近くにトイレの設置

○タイヤブランコの設置

○バケツの補充

○滑り台の改修

○小学生の利用時間延長

○屋上の開放

○宿泊がしたい

○カジノの設置

○テレビの設置

- ペットの飼育
- プレイステーションの土地の拡張
- ツリーハウスの設置
- サウナの設置

その他要望

- ・木材の扱いに関するルールをはっきりと（取り置き不可のこと）
- ・子どもによる、基地エリアでの決まり事（BB 弾を打たない、など）

決定事項：

- ・上記要望について、市役所へ提出し検討する。
- ・木材の支給があった場合は、希望者リストなどを作成し平等に分配する。

特徴的な意見

- ・基地作りに関する要望（木材、コンクリート壁など）や、遊びの拡張に関する要望（釣り堀、ツリーハウス、ポケカのバトルゾーンなど）が目立った。
- ・「だがプレ」をより快適で楽しい場所にしたいという思いが強く感じられた。

利用者懇談会（大人版）

令和7年3月23日 15:00～16:00

参加者7名＋スタッフ3名

ご意見

○「子どもたちの遊び場の不足（少子化なのに！なぜか？）が言われているがどうか？」

- ・プレステのような場所がもっと必要。
- ・プレイリーダーのような主体的な大人（子どもの遊びをそのまま受け止め、周囲に伝え巻き込んでゆく）が減っている。
- ・自由に子どもらしく遊ぶ場も、自由に子どもらしくいることを許せる大人がいない。大人が変わろうとする必要を感じる。
- ・自主保育グループの活性化はできるのか？
人を募っても、みんなサービスの受け手。なので続かない。「何をしてくれるんですか？」というスタンス。自ら選んでやろうという人がいない。
「自主的に保育するグループ」全盛の時代を、無理に取り戻さなくても良いのでは

○「プレステの魅力を伝える方法は？また、一方、安全面への懸念」

- ・子どもたちがノコギリやハンマーなどの道具を使う際の安全対策が必要。
スタッフだけでなく、利用者が主体として一緒に安全管理に取り組めるような文化づくり。なので、安全にすれば良いわけでもないし、看板やルールを増やせば良いわけでもない。ここが難しい。

今後について

- ・昔のやり方に囚われない新たな活動の検討をおこなう。
例えばプレステ主催で仲間作り、文化作りを目指した交流イベント。サービスを消費する便利なイベントではなく、利用者がチャレンジするイベント。「焼こう」の開催。とにかく広報が目立ち、入りやすいのがポイント。プレイリーダーが食材準備をしておもてなしするイベントではなく、みんなで体験して、みんなが考え、自ら挑戦し、繋いでゆくコンセプト。
七輪で持ち寄り食材を焼く。世代を超えて交流できるイベントを目指す。
「3文字企画」として、連鎖してゆく。「焼こう」「煮よう」「寝よう」など、大喜利のようにその度に交流のネタとして、参加者自身が次回の企画・運営に関わってゆく。スタッフと一緒に主体性を育む。
開催日時は4月後半の平日11時～13時とかはどうか。また、参加者は利用者全般、地域の人たちも考えていく。

にちじ ねん がつ にち
日時：2025年3月22日

ばしょ
場所：プレイステーション

さんかしや めい
参加者：7名、プレイリーダー

●子どもたちの遊び場の不足（少子化なのに！何故か？）

プレステのような場所がもっと必要。

プレイリーダーのような主体的な大人（子どもの遊びをそのまま受け止め、周囲に伝え巻き込んでゆく）が減ってる。

・自由に子どもらしく遊ぶ場も、自由に子どもらしくいることを許せる大人がいない。大人が変わろうとする必要を感じる。

●プレステの魅力を伝える方法

●一方、安全面への懸念

子どもたちがノコギリやハンマーなどの道具を使う際の安全対策が必要。スタッフだけでなく、利用者も主体として一緒に安全管理に取り組めるような文化づくり。なので、安全にすれば良いわけでもないし、看板やルールを増やせば良いわけでもない。ここが難しい。

●自主保育グループの活性化はできるのか？

人を募っても、みんなサービスの受け手なので続かない。

自ら選んでやろうという人がいない。「自主的に保育するグループ」全盛の時代を、無理に取り戻さなくても良いのでは？

●昔のやり方に囚われない新たな活動の検討

例えばプレステ主催で仲間作り、文化作りを目指した交流イベント。サービスを消費する便利なイベントではなく、利用者がチャレンジするイベント。「焼こう」の開催。とにかく広報が目立ち、入りやすいのがポイント。

プレイリーダーが食材準備をしておもてなしするイベントではなく、みんなで体験して、みんなが考え、自ら挑戦し、繋いでゆくコンセプト。七輪で持ち寄り食材を焼く。世代を超えて交流できるイベントを目指す。「3文字企画」として、連鎖してゆく。「焼こう」「煮よう」「寝よう」など、大喜利のようにその度に交流のネタとして、参加者自身が次回の企画・運営に関わってゆく。スタッフと一緒に主体性を育む。

開催日時は4月後半の平日11時～13時とか？

参加者は利用者全般、地域の人も。

持ち物は焼きたい食材とする。

→自主保育グループは、存続を背負わなくても無理に解散しなくても良い。この3文字イベントに取り敢えず乗っかる。受付にテキストに作ったポスターを貼り出します(■)

事業実施状況 指定管理者 自己評価票

施設名	国分寺市プレイステーション
指定管理者名	特定非営利活動法人 冒険遊び場の会

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
収支 支 計 性 画 の	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	年度途中に、常勤プレイリーダーが退職したことにより、今までいたアルバイトプレイリーダーを常勤として起用をおこなった。アルバイトプレイリーダーは以前から社会保険に加入していたため、結果、1人分の社会保険料が不必要になった。そのため、常勤職員給与、法定福利費が予算よりも減少する結果になり、全体としてもその分の予算が余る形になった。
業務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されているか	4	昨年度末に申し入れがあった今年度4月からのプレイステーションの閉園時間を17時から18時に変更してほしいという意向に添う形でシフトを組み、業務をおこなった。最初は戸惑いもあったが、小学生が18時までいられることには賛同できるため、業務をしっかりと構築し遂行をおこなった。
	開館予定日数・開館時間は守られているか	4	今年度から変更の小学生までの開園時間が18時になり、それに添って、シフトを組み、開園した。また、それにより、「夕暮れカフェ」の活動時間が今までは17時30分から20時だったため、小学生が18時までいることに戸惑いを見せていた中高生も、スタッフの上手な対応により、次第に受け入れられるようになっていった。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	4	4月からの開園時間が変更になり、予算決定時はそのことは鑑みてなかったため、決まっていた人件費の予算の組み直しをおこない、活動に支障がないようにスタッフのシフトを組み活動をおこなった。また、活動内容を考え、夕暮れカフェには大学生スタッフを入れたり、土日カフェには、そこに興味を持っていた市民を雇用し、その活動に応じた形で業務を遂行することができた。
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されているか	3	管理運営に必要な防火管理者を置いている。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	書類は鍵つきロッカーに保管し、必要な報告は行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	4	毎日の業務の始まりに、その日に入るスタッフ全員で朝会を必ず開き、昨日からの引き継ぎ事項の確認と共に、本日の業務の確認を行っている。その後すぐに場内外の施設点検を行い、安全、清潔に保っている。特に、屋外の安全点検、整備に関しては、その日のプレイリーダー全員で端からくまなく見ながらチェックを行っている。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	エレベーター管理、機械警備の検査は確実にしている。
サー ビ ス の 質 に 関 する 評 価	利用者の満足度はどうか	5	・子どもアンケートでは、楽しかったかの項目では、97%が楽しかったという回答だった。 ・再度利用したいかの項目では、98%がまた来たいという回答だった。 ・スタッフに対しては、97%がよい感じとの回答だった。 ・駄菓子屋の利用は、90%の子どもたちが利用し、再度利用したいという回答は、89%だった。 ・子どもの自由記述からは、プレイステが大好き、ここは楽しい、毎日やってほしいなどの記述が数件あった。 ・大人の自由記述からは、不登校の子の居場所になっていてありがたい、子どもがいろいろと自分で考えて遊べる環境がとてもよい、日常の中で体験できないことが体験できてありがたい、子どもたちが喜んで、この場所やプレイリーダーにとっても助けられているなど、多くの記述があった。また、スタッフの対応に関しても、明るい、優しい、楽しい、気遣いがある、距離感がいいなど、とてもいいという記述が多くあり、プレイステーションスタッフに対しての信頼が感じられた。また、子どもたちが自由にのびのび遊べる素敵な遊び場であり、普段できない体験ができるなどの記述も多く見受けられた。 ・プレイステーションに対する肯定的な意見が、54件寄せられた。
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者アンケート結果に関して、全ての自由記述などの意見に対して現場スタッフで話し合いを行い、いただいた意見を活動に取り入れている。また、いただいた意見と回答を来場者が見える形で掲示での公開を行い、多くの人に見える形を取っている。また、利用者懇談会で出た意見も同じように、全ての意見に対して回答を行い、来場者が見える形で掲示での公開を行っている。また、いただいた意見については現場会議にて話し合いの時間をとり、活動にとりいれている。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	4	利用者に向けて、プレイリーダーの存在がわかるように、「ピブス」を着用している。また、初めて遊びに来た利用者には、事務スタッフ、プレイリーダーが協力しあい、プレイステーションの様子がわかるチラシと共に利用の仕方の注意点を書いたチラシを渡し、案内をし説明をしている。また、できる限り、プレイリーダーにつなぐように心がけている。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	4	・プレイステーションの隣人の畑の方から、石が投げ入れられているという意見を2件いただいた。隣とのフェンスが低いため、こちらからはそこに足す形で高めのネットを張ること、また、下に板を張ることにより、砂利混じりの土がいかないように対処した。また、隣人とのフェンス一面に、子どもたちがわかりやすいように「石を投げ入れないで」という看板を多く付けて対処した。また、雑草の種が飛んでくるという意見には、広い場所ではあるが、こちらの草刈りの徹底をおこなった。 ・利用者の子どもの保護者から、中学生にゴミを押しつけられたという意見をいただいた。そこには、不快なことがあったことをお詫びするとともに、年上の子どもが年下の子どもに威圧的にならないようにスタッフで共有した。 ・子ども同士のトラブルでのご意見をいただいた。この件については、保護者にお詫びをし、現場には「暴力に関する対応マニュアル」があることを説明し、それに従って全てのスタッフが対応していることを説明した。また、相手が毎日トラブルを起こす子どもに関しての件だったため、その子に関しては日々の日誌、朝会、振り返りでスタッフ間で確認するとともに、会議の中で全スタッフで話し合いを行った。また、これらの全ての事柄に関しては、担当課にもすぐに報告を行い、対応に関しても逐一報告を行った。様々な子どもたちが遊びに来るプレイステーションにおいて、担当課だけでなく、子ども家庭支援センター相談係、小学校とも情報共有を行い、対応を行った。家庭環境含め、すぐには解決が難しいことだが、年間通して、日々、スタッフ間で共有し、真摯に向き合ってきた1年間だった。

	個人情報が適切に取り扱われているか	3	個人情報に係わる利用者カードの管理は鍵つきロッカーに保管している。
	業務に必要な研修を実施しているか	5	今年度は、現任研修として年間9回(5月2回、7月、10月、11月2回、12月、1月、3月)の研修を行った。安全管理研修、応急救急研修は毎年おこなっている。昨年度から、放課後デイサービスの多くの利用があることから、合理的配慮が必要な方の理解や対応について重点的に研修をおこなった。講師の方をお呼びし、その後、現場での対応をどうしたらいいかの観点からの研修もおこなった。また、活動の中での子ども同士のいざこざから、事例検討研修をおこなった。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	5	今年度、武蔵村山特別支援学校のボランティア養成講座にスタッフ6名が出向き、そこで研修を受講した。障がいがあること、合理的配慮が必要な方への理解、配慮に関する内容の研修だったため、その後、全スタッフと共有をおこなった。また実際に、プレイステーションの現場に講師の方に来ていただき、障がいをもった方、合理的配慮が必要な方の視点で現場をみてもらい、意見をいただいた。実際に、合理的配慮とは何か、また、合理的配慮が必要な方への接し方、現場の中でのゾーニング、対応の仕方などを全スタッフが学んだ。その結果、ゾーニングも、バリアフリーの観点からの考え直しをおこない現場に反映させた。
	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)		
施設水の準特性に留意した	地域における青少年の健全育成と子育て支援に関する取組について、関係機関等と連携し、多様な事業展開がされているか	4	国分寺市プレイステーションにおける青少年の健全育成に関しては、学校に行っていない小学生、中学生が朝から毎日遊びに来る姿が続き、日々の子どもの遊びには現場としてプレイリーダーがしっかりと向きあい、彼らの居場所になった。しかし、プレイステーションだけでは彼らの家庭での姿を含め、全てを把握することができないこと、また、彼らの現場の中での他者とのトラブル等もあり、担当課である子ども子育て支援課、子ども家庭支援センター相談係、学校との話し合いを持ちながら、彼らにとってのそれぞれの受け止め方を確認することができた。また、子育て支援においては、当会のカウンセラー、管理栄養士への相談だけでなく、助産師、子育て応援パートナーを日々の活動の中で受入れをおこない、利用者の相談に向き合うことができた。
	プレイリーダーの育成に関する講習会等は効果的に実施されているか	4	プレイリーダー講習会として、第1回は現場でのフィールドワーク、第2回目はシンポジウムをおこない、フィールドワーク44人、シンポジウム66人と多くの参加があった。アンケートではフィールドワークは100%、第2回の講義では90%が「満足・どちらかというと満足」と高評価だった。第1回のフィールドワークではプレイリーダーに「関心がある」としたのは、すでにプレイリーダーとして活動している人以外の15人中8人、第2回の講義では「今後プレイリーダーになりたい」「関心がある」と答えたのは、すでにプレイリーダーとして活動している人以外の29人中20人と、関心の高さも目立っていた。第1回では体験的に子どもの遊びを学んでもらい、第2回では遊び場の実態をプレイリーダーから学んだことで、遊びやプレイリーダーへの関心を引き起こすことができたと考ええる。
指 定 管 理 者 の 自 己 評 価			
総合評価		評価の理由等	
4	市の要求水準を上回っている	・今年度は、親子ひろばの利用者は9,542人で、前年度より全体で1,025人減少した。その内訳は、子ども487人、大人538人の減少だった。プレイステーション全体の利用者は、イベントを除き、25,392人だった。昨年度と比べ、幼児が622人、大人は878人が減少した。しかし、小学生は735人、中学生は583人の増加があった。利用数としては、親子ひろばの利用者が減少したことに連動する形で、プレイステーションも親子の利用が減少した。乳幼児親子は保育園に、1歳2歳から入ることに加え、2歳児から入ることができる幼稚園が増加したため、平日の親子ひろば利用者の子どもの年齢層は、0歳1歳が中心になっている現状がある。 ・プレイステーションは、駄菓子屋、土日カフェの効果もあり、土曜日の利用者はとても多く、利用者増加に伴い、安全確保のためにプレイリーダーを加配しての活動を行った。また、その人数に加え、夕暮れカフェでの中学生は、1,817人の利用があった。夕暮れカフェ開設前は中学生の利用がとても少なかったもので、格段に増加し、中学生の居場所として機能し始めている。1年を通じておこなった「駄菓子屋」「夕暮れカフェ」の活動が、小学生、中学生にとっての、いい居場所となり、「土日カフェ」の活動が土日親子のいい居場所になっている。 ・利用者アンケート(1ヶ月間実施)からは、プレイステーションの満足度は、大人100%、子ども97%、親子ひろばは、93%であった。自由記述欄からは、プレイステーションや親子ひろばの存在価値や良さが多く述べられていた。 ・アンケート結果からは利用者の満足度が高かったが、学校に行っていない子や、家庭などに様々な事情を抱えた子どもたちが多く遊びに来ていることから、0歳から17歳までの子どもたちが来る遊び場としては、全ての利用者に満足いく形での運営の難しさも抱えているのも事実である。今年度は、学校に行っていない小学生が毎日10時から18時まで利用しており、感情をコントロールすることが難しいことが日々あり、年間通じて、職員間の話し合いを多く持ちながら、担当課、学校とも話し合いを重ね、対応をおこなった。さまざまな事情を抱えた子どもたちが来ることができる居場所としてのプレイステーション、そして、全ての子どもたちにとっても、よりよいプレイステーションのあり方を考えながら活動をおこなった1年だった。多くのスタッフが勤務するプレイステーションとしては、全スタッフが同じ方向を向いて子どもに対応することが必要なため、日々の日誌、朝会、振り返りでスタッフ間で確認するとともに、会議の中で全スタッフで話し合い、研修をおこない、年間通して、日々、真摯に向き合ってきた1年間だった。	
		代表理事 武藤 陽子	

5 市の要求水準を大幅に上回っている
4 市の要求水準を上回っている
3 要求水準を満たしている
2 改善を要する
1 抜本的見直しを要する

令和6年度 指定管理者 苦情受付・対応件数報告書 【別紙 7】

指定管理業務名又は施設名	国分寺市プレイステーション
--------------	---------------

年	月	件数（A + B）	苦情者内訳		対応後完了 件数	その他 件数
令和6年	4月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	5月	1	A	0	0	0
			B	1	1	0
	6月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	7月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	8月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	9月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	10月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
11月	0	A	0	0	0	
		B	0	0	0	
12月	1	A	0	0	0	
		B	1	1	0	
令和7年	1月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	2月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	3月	1	A	0	0	0
			B	1	1	0
合 計		3	A	0	0	0
			B	3	3	0

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A以外からの苦情件数

対応後完了件数 … 苦情受付後、対応により完了した件数

その他件数 … 苦情を聞き置く等、上記以外の件数

※ 上記に記載されたものは、1件毎に別紙により 受付日・内容・対応等を記載し、添付してください。

苦情内容および対応詳細

施設名			国分寺市プレイステーション	
No.	月	A・B	苦情内容	対応詳細
1	5	B	畑にそちらの石が飛んてくる。フェンス沿いで穴を掘っているのだからこちらに石が入ってくる。また雑草の種も飛んてくる	件の穴の横に板を設置し砂利混じりの土がいかないようにする。 他の部分にもネットまたは板を貼る。 草刈りの徹底を約束した
2	12	B	子どもが石を畑に投げ入れている、と実物の石を提示された。	石を受け取り、子ども達へ投げ入れないように声かけをする。また、「石を投げ入れないで」という張り紙をフェンスに貼る。
3	3	B	敷地内におもちゃが投げ入れられていた、と実物を渡された。	駄菓子屋で渡す景品であることを確認し、お宅へ伺い謝罪した。さらに子どもたちへの声掛けと注意喚起を徹底することを約束した。
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A以外からの苦情件数

国分寺市 子ども家庭部 子ども子育て支援課 御中

施設名称	国分寺市プレイステーション
指定管理者名	冒険遊び場の会

苦情等対応記録

標記につきまして、以下のとおり報告いたします。

年度	令和6年度	受付No.	1
受付日（事実発生日）	令和6年5月9日	受付方法	口頭
受付者		備考	
苦情申出人			
氏名		住所	
利用者との関係	その他	連絡先	
利用者			
氏名		住所	
苦情の内容	種類	その他	
	発生日		
	発生場所	隣の畑	
	概要	・基地エリアから石がフェンスを越えてきている。こどもの投げた石はほとんどないようだが、フェンス越しに穴を掘っているためその土が入り込んでいる。 ・フェンス越しの雑草がすごく、種が飛んでくる。畑は石と雑草が天敵。本当は費用を持ってほしいほどだが、今回はこちらで除草剤を撒く。 ・自らフェンス越しに除草剤を撒いた。	
対応経過（時系列・箇条書きで記入）			
日時	内容		
R6.5.9	以前ご意見をいただいた時に畑ぞいに50mほどの防風ネットを設置したが基地エリアで石を投げるケースはなかったので基地エリア以降の処置は見合わせていた。この見立てが甘かったことを謝罪し、以下のことを約束した。 ①件の穴の横に板を設置し砂利まじりの土が畑に行かないようにする ②他の部分にもネットまたは板を貼る ③草刈りを徹底する とりあえずその場では、特定の場所に廃材の板を設置した。		
改善・再発防止の具体的対策の内容			
①件の穴の横に板を設置し砂利混じりの土がいかにないようにする ②他の部分にもネットまたは板を貼る ③草刈りの徹底			

国分寺市 子ども家庭部 子ども子育て支援課 御中

施設名称	国分寺市プレイステーション
指定管理者名	冒険遊び場の会

苦情等対応記録

標記につきまして、以下のとおり報告いたします。

年度	令和6年度	受付No.	2
受付日（事実発生日）	令和6年12月11日	受付方法	口頭
受付者		備考	14:30ころ隣の畑の持ち主からフェンス越しに声をかけられた
苦情申出人			
氏名		住所	
利用者との関係	その他	連絡先	
利用者			
氏名		住所	
苦情の内容	種類	その他	
	発生日	令和6年12月11日	
	発生場所	プレイステーション	
	概要	少し歩いただけで石がこんなにあったとポケットから石を出してみせてくれた。子どもが石を投げているから石が入る。ネットをつけたことでネットの上から届くように投げているのではないかと。石が入るとこちらは本当に困る。石が入って困っていることを市に内容証明を送ってもいい。ここが駐輪場で砂利がいっぱいあったことは知っている。でも石が入るのは困る。	
対応経過（時系列・箇条書きで記入）			
日時	内容		
R6.12.11	14:30 フェンス越しに声をかけられたのでお話を聞く。その時に石を受け取る。		
改善・再発防止の具体的対策の内容			
①子どもたちが石を投げないように声かけをする ②張り紙をして注意喚起をする			

国分寺市 子ども家庭部 子ども子育て支援課 御中

施設名称	国分寺市プレイステーション
指定管理者名	冒険遊び場の会

苦情等対応記録

標記につきまして、以下のとおり報告いたします。

年度	令和6年度	受付No.	3
受付日（事実発生日）	令和7年3月22日	受付方法	口頭
受付者		備考	来場され玄関にて実物を手渡し
苦情申出人			
氏名		住所	
利用者との関係	その他	連絡先	
利用者			
氏名		住所	
苦情の内容	種類	その他	
	発生日	令和7年3月22日	
	発生場所	敷地内	
	概要	「これが敷地内に投げ入れられていました」と実物のおもちゃをお持ちになり渡された。ポケモンボールのような球状のおもちゃだった。2つに分かれる構造になっている。	
対応経過（時系列・箇条書きで記入）			
日時	内容		
R7.3.22	おもちゃを受け取りつつ謝罪をする。はおもちゃを渡すとすぐ帰られた。に報告し、駄菓子屋のスタッフに確認したところ、駄菓子屋で渡している景品と思われるとのことだった。色違いの同じおもちゃが景品として駄菓子屋に置いてある。すぐさまが隣家へ出向き謝罪と今後の対応を伝えた。		
改善・再発防止の具体的対策の内容			
①子どもたちには、おもちゃやゴミを隣家の敷地へ投げ入れないように話をし、徹底する。 ②張り紙をして注意喚起をする			

1、遊び場の環境整備

(1) 身体を使って遊べる工夫

- ・子どもたちの誰もが身体を使って自由に遊べるよう、木材や竹材などの自然素材を活かした環境整備をおこなった。
- ・からだを使って遊べる手作り遊具を設置した。(親子で滑れる大型のスベリ台、四肢欠損の子どもも乗れるバケツのブランコ等)
- ・子どもがスケートボードなどで遊べるエリアを作り、子ども達と話し合いの場を持ち、安全のためのルールや設備を整えた。
- ・泥のエリア、山のエリアを管理運営し、デコボコの上を走り回ったり、山を中心に鬼ごっこ、穴掘りが展開できるようにした。

(2) 体験活動ができる場の設営

- ・工作などのものづくり体験、虫取りなどの生き物観察、いちご畑、チューリップの種まきや、火おこし体験、仕事体験。年に一度の子どもまつりにおける出店体験をおこなった。
- ・火の体験活動(火おこし、火を使った調理、火を使った工作、実験)
- ・食べ物をつくる体験活動(畑での栽培、収穫、調理)
調理のルール、マニュアルの作成、調理台や器具を整備し、安全に調理体験ができるように環境を整えた。
- ・自然体験活動(虫取り、虫の飼育、植物染め、泥遊び、木登りなど)
虫や植物への感心を高めるため、カナヘビ観察日記看板、“地球箱”と名付けた、幼虫が発育しやすい環境の腐葉土入れ、虫籠、虫網置き場の設置。樹木の剪定、草刈りなど工夫した。
- ・ものづくり体験活動(ノコギリ金づち等の道具の使用、遊具づくり・道具づくり、基地づくり、陶芸など)ができるよう、工作のエリア、火おこしのエリア、基地作りのエリアを区分し、それぞれ整備、管理した。
- ・駄菓子屋、土日カフェ、子ども祭りで行う仕事体験をおこなった。

(3) 子どもの居場所として機能させる

- ・設備、遊具の設営として、場内に、子どもとプレイリーダーが共に過ごせる、サンドバックなどを設置する小屋の建設を始めた。
- ・「家庭的な困難を抱える子ども」、「学校で孤立しがちな子ども」など、大人の支援を必要とする子どもたちが安心して来られる場所であるよう、ロールプレイング研修や、事例検討を行い、プレイリーダーとしての質を高めた。
- ・必要に応じて学校、子ども家庭支援センター、スクールソーシャルワーカーなどと会議を持って情報を共有し、多角的に子どもをサポートした。
- ・中学生、高校生たちの居場所としても機能するよう、場と時間を確保した。
- ・すべての子どもたちが楽しく遊べるよう、バリアフリーやインクルーシブの研修を重ねて看板表表記や遊具の配置、掲示の仕方を協議、見直しをした。
- ・子どもが安心して悩みを打ち明けられるよう、職員と子どもが対話できる部屋の、

安全な使用のための取り決めをおこなった。

- ・中高生が参加しやすい活動として「夕暮れカフェ」では複数回イベントを行い、活動の充実を図った。
- ・スケボーエリアが完成し、その利用のルールについて、子どもたちと一緒に会議をもつてつくった。

スケボーエリア会議 9月7日 11:00～12:00 参加者：子ども6人、
スタッフ10人

年間活動実績

	駄菓子屋	夕暮れカフェ		土日カフェ	
開催日数	270 日	201 日		68 日	
利用者数		1,671		1,817	
		中学生	1,549	大人	1,648
		高校生	122	子ども	169
仕事体験参加者数	2,401			42	
ボランティア		54			

○駄菓子屋の企画運営をおこなった。

- ・駄菓子屋を開設し、年間 2,401 人の子どもたちが駄菓子屋の仕事“店員”を体験した。これは、昨年度から 125 人の増加があり、プレイステーション内の駄菓子屋の仕事体験が子どもたちの遊びの一つとして日常的におこなわれた。
- ・仕事内容も、駄菓子の販売だけでなく、日々の子どもの声から、親子ひろばへの出張販売を行うことにより乳幼児への絵本や紙芝居の読み聞かせが行われ、乳幼児との遊びも日々の中で行われ、母親たちも一緒に小学生との交流を楽しみ、多世代交流が自然とおこなわれた。
- ・店員は駄菓子屋の中で、ただ売るだけでなく、子どもたちの発案で駄菓子をくじ引きにして売ったり、色々な駄菓子を組み合わせでお楽しみ袋を作るなど、ゲーム性を加える姿もあり、創意工夫しながら楽しむ様子も見られた。また、プレイステーションでの遊びに疲れた子どもたちが駄菓子屋店内に入りリラックスする姿もあり、駄菓子屋が子どもたちの居場所として定着してきた。

○土日カフェの企画運営をおこなった。

- ・親子がくつろげる「カフェ」の開設を土日を行うことにより、乳幼児親子の休息と交流やこれまで来場が少なかった父親の姿も増え、新たな家族の居場所にも一役買うことができた。
- ・今年度は、窓越しから提供するだけでなく、気候のいい時期には屋外のウッドデッキ横にてカフェを開いたことで、ウッドデッキ上や周りで遊ぶ親子たちとの交流やお話、サポートもすることができ、とてもいい時間を作ることができた。
- ・お仕事体験では中学生・高校生が参加してくれることがあった。夕暮れカフェとの連携で利用している中高生がクッキーを作り、パッケージのイラストも作ってくれ

た物を販売する事ができた。

○夕暮れカフェの企画運営をおこなった。

- ・日常のプレイステーションの利用者に加え、中学生・高校生のための「夕暮れカフェ」には、1,671人の中高生が利用した。（昨年度は1,343人）特に、今年度は、中学生が200人の増加があった。
- ・「夕暮れカフェ」では、毎日、子どもたちが料理をつくり、食べることが日常になった。毎日、その日の夕ご飯を食べていく子も一定程度いる。また、楽器演奏などの体験活動やゲームなど、中高生が自由に過ごせる居場所となった。中高生と年齢が近い大学生がスタッフとして入ることにより、共通の話や遊びなども行われ、子どもたちの居心地のいい居場所になった。不登校等の理由で孤立しがちな子どもたちにもスタッフが寄り添い、安心できる居場所となっている。

2、健全育成に関する地域活動団体等の活動支援、対応

- ・複数の子育てサークルなど地域活動団体の受け入れ、イベントを共催するなどの支援をおこなった。
- ・小学校等の授業の受入れをおこなった。
- ・視察、見学の受入れをおこなった。

○地域活動団体等への支援

地域で活動しているガールスカウト	5月26日	子ども16人	大人11人
ころろ探検隊	11月7日	子ども8人	大人3人
放課後デイサービス 光	4月6日	子ども15人	大人3人
	8月23日	子ども17人	大人3人
	9月28日	子ども11人	大人3人
	10月26日	子ども6人	大人4人
	11月9日	子ども13人	大人4人
	11月30日	子ども13人	大人4人
	1月11日	子ども13人	大人4人
放課後デイサービス ツリーハウス	5月30日	子ども3人	大人2人
	5月31日	子ども3人	大人2人
放課後デイサービス かたつむり	4月25日	子ども3人	大人2人
放課後デイサービス コパンハウスさくら わかば町教室	5月18日	子ども11人	大人4人
	6月11日	子ども7人	大人5人
	9月19日	子ども2人	大人1人
	9月28日	子ども3人	大人2人
	10月12日	子ども8人	大人3人
	11月6日	子ども2人	大人1人
	2月7日	子ども1人	大人1人
放課後デイサービス コパンハウスさくら 幸町教室	6月7日	子ども6人	大人9人
	6月29日	子ども20人	大人5人
	7月11日	子ども7人	大人5人

	11月21日	子ども4人	大人6人
	12月20日	子ども8人	大人5人
	2月20日	子ども6人	大人5人
放課後デイサービス 第2ルーチェ	4月2日	子ども6人	大人2人
	9月24日	子ども4人	大人3人
放課後デイサービス あいうえお	12月27日	子ども9人	大人5人
放課後デイサービス ナチュラル	1月11日	子ども11人	大人5人
くにたち発達支援センター	6月29日	子ども8人	大人4人
	10月6日	子ども8人	大人4人
	11月6日	子ども7人	大人4人
学習支援団体 じゅげむ	11月10日	子ども13人	大人15人

○子育てサークルへの支援

- ・日常的に、地域での子育ての推進を目的に、3組の子育てサークルを年間を通して受け入れ、孤立しがちな子育ての中における仲間づくりのための声掛けなども行い、子育ての支援をおこなった。
- ・子育てサークルに対して、活動がスムーズにできるよう、活動備品などの置き場所を確保し、活動を支えた。

子育てサークル「ぐるんぱ」 17回の活動の実施

子育てサークル「ハンティントン」 11回の活動の実施

子育てサークル「ピカソ」 31回の活動の実施

- ・子育てサークルと一緒に、小イベントを企画し共同開催した。
ハロウィンイベント：令和6年10月29日（火） 親子10組
令和6年10月31日（木） 親子5組
クリスマスイベント：令和6年12月10日（火） 親子5組
節分イベント： 令和7年2月4日（火） 親子15組

○小学校等授業の受入れ

【授業の受入れ】

- ・国分寺市立第六小学校まち探検
日にち：令和6年11月27日 11：00～11：30
参加人数：小学生7人 教師1人
- ・国分寺市立第四小学校さつき学級
日にち：令和6年11月19日（火）10：30～11：30
参加人数：小学生12人 教師4人

【職場体験の受入れ】

- ・国分寺市立第一中学校 8人 日数：4日（期間：令和6年9月25月～28日）
- ・国分寺市立第二中学校 5人 日数：3日（期間：令和6年11月27月～29日）
- ・国分寺市立第五中学校 5人 日数：3日（期間：令和7年1月21日～23日）

○見学、視察の受入れ

6月	9日：民生委員 20日：放課後デイサービスこげら会 1人
7月	20日：こくカレメンバー 3人 27日：国分寺市市政戦略室職員 4人
9月	8日：昭島市立光華小学校「自由遊びの会」1人 21日：こくカレメンバー 3人 24日：早稲田大学佐藤研究室 1人 26日：国分寺市立第一中学校教諭 1人 26日：大阪スポーツみどり財団 2人 27日：学習支援団体 じゅげむ 2人
10月	8日：千葉大学学生 1人 23日：合同会社 Walk 2人 31日：ころろ子ども探検隊 1人
12月	7日：川崎市夢パーク職員 1人
1月	22日：くにたち農園の会 4人 28日：シルバー人材センター職員 1人 29日：こくぶんじ観光まちづくり協会 4人
2月	14日：国分寺市子育て相談室職員 1人 19日：NPO 法人 あそびとまなび研究所 2人

随時：地域の方、ボランティア希望者

○視察の受入れ

5月30日	USA ノースイースタン大学	学生、博士、アシスタント 計38人
9月8日	ルーマニア国立バベシュ・ボヨイ大学文化センター	職員 4人
9月27日	アラブ首長国連邦	Abu Dhabi Early Childhood Authority 職員9人、通訳1人

●地域支援活動

- ・毎朝のゴミ拾い（西武線沿いの道路のゴミ拾い）をおこなった。
- ・地域の方（高齢者含む）をボランティアとして受け入れ、相互理解を深めた。
日数 129日 延べ人数 173人

- ・同地域で活動している人形劇サークル「おはなしのくにピッピ」が活動をおこなった。（11月8日：親子20組の参加）
- ・土日限定カフェ（どーにっち）を開催。楽器演奏や、ルーマニア大使館からゲストを迎えての異文化交流イベント等を複数回行い、近隣の方の利用を積極的に呼びかけた。

開場日：土日毎回 年間 68回 利用者 1,648人

3. 親子ひろば事業の運営

（1）乳幼児とその保護者、妊婦の交流の場の提供と交流の促進

○乳幼児と保護者が安心して遊べる場の創出

- ・親子が安心して遊べるように、年齢に適した遊具や親しみがもてる季節の壁面飾りなど環境を整えた。初めての親子には丁寧に、施設の説明や案内をした。
- ・外遊びが適当と思われる親子には、スタッフが屋外に誘導し、外のプレイリーダーにつなぎ、安心して遊びはじめられるようにした。外遊びに消極的な親子や、歩行前の0歳児親子には、ウッドデッキを案内し、屋外の気持ちよさや屋外へ興味をもってもらうようにした。
- ・週末に行っているカフェ「どーにっち」を利用することで、日頃の疲れからリフレッシュできていた親子もいた。
- ・毎月1回、「外遊びをはじめよう」というイベントの日を設定した。この日をプレイステーションでの外遊びを始めるきっかけとする親子も多かった。
- ・駄菓子屋の小学生が仕事体験で親子ひろばにくる仕組みを作り、駄菓子の出張販売や絵本の読み聞かせなどを通して、日常的に親子と小学生が交流できるようにした。

（2）利用者の登録申請、利用名簿等の管理

- ・利用者の登録申請、利用名簿等の管理をおこなった。

(3) 子育て等に関する相談、援助の実施

○親子ひろば相談数

令和6年度年間集計				BOUKENどんどこ				親子ひろば				
相談種別番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	月計
月	授乳・卒乳	子どもの食事	子どもの発達 (言葉・歩行等)	生活習慣・生活リズム (夜泣き・睡眠・片づけ等)	子どもの健康 (発育・受診・予防接種等)	子どもの行動 (子ども同士のトラブル・自己主張等)	親自身の悩み・不安	他親とのトラブル	幼稚園・保育園	サービス・問い合わせ	その他	
4月	2	13	3	4	0	0	10	0	1	6	0	39
5月	1	14	6	2	0	1	4	0	6	8	0	42
6月	2	8	6	4	1	4	13	0	4	7	0	49
7月	1	2	7	3	1	1	11	1	7	9	0	43
8月	0	13	8	0	0	4	13	0	3	11	2	54
9月	2	3	3	3	1	1	17	0	1	9	0	40
10月	4	15	7	5	2	4	15	0	7	10	0	69
11月	1	7	8	2	0	2	13	0	6	12	0	51
12月	0	7	7	3	1	2	3	0	1	4	0	28
1月	1	12	3	3	1	3	7	0	3	7	0	40
2月	0	5	3	6	0	5	9	0	4	7	0	39
3月	2	8	2	3	4	4	6	0	3	7	0	39
合計	16	107	63	38	11	31	121	1	46	97	2	533

- ・ひろばの中で日常的にスタッフが相談を受けた。そこから、助産師・管理栄養士・カウンセラーなどの専門相談へつなぐこともあった。
- ・カウンセラーの日(毎週木曜日)、助産師の日(月1回水曜日午前)を開催。
ひろばの中で相談を受けることが多かったが、希望に応じて個室での相談も行った。
- ・また、年6回の「発達がちょこっと気になるチョコの日」では、専門家による発達相談を行い17件の相談があった。
- ・さらに多方面からの支援が必要と思われる利用者については、子育て応援パートナーに繋いだ。

（４）地域の子育て関連情報の提供

- ・子育てに関する情報を、掲示やファイルにて、わかりやすく利用者に提供した。
- ・必要に応じて SNS でも子育て関連の情報を発信した。

（５）子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

○乳幼児とその保護者、妊婦等を対象として、月 1 回以上、子育て及び子育て支援に関する講習会やイベントを実施した。

- ・専門家（助産師、管理栄養士、カウンセラー、理学療法士、足育アドバイザー）による講習会や座談会（わになって話そう）を実施。
- ・地域の方々をお呼びして身近なテーマでの講習会を実施。
市民活動グループ（本について、おはなし会）
地域で活動している方（エプロンシアター）
- ・あずこっこ（利用者同士のあずかり合い）と仲間作り講座を実施。（６月、９月に開催）
内容：①預け合いの体験
②知り合いをつくる。交流。
③リフレッシュワークショップ
- ・多胎児向け講座を実施した。（３回）
内容：リフレッシュ、ミニ講座、情報交換、交流。
- ・利用者の母による講座やイベントの開催（利用者による参画）
（レッツダンス、ベビーマッサージ）

実施日	実施回数	講座・イベント名	参加者数
毎週火曜	51 回	ようこそ赤ちゃんタイム	365 組
毎月第 3 火曜	9 回	外遊びを始めよう	123 組
毎月第 4 金曜	12 回	誕生会	51 組
5 月 15 日 7 月 10 日 9 月 11 日 11 月 13 日 1 月 18 日 3 月 22 日	6 回	足育のはなし	46 組

6月7・14・ 21日 9月6・13・ 20日	2回	第1回「仲間づくりと預け合い入門」 第2回「仲間づくりと預け合い入門」	6組 4組
4月23日	1回	わになって話そう 「兄弟のいろいろ話しませんか」	6組
5月28日 3月12日	2回	わになって話そう 「助産師と話しませんか」	17組 6組
2月19日	1回	わになって話そう 「離乳食、これでいいのかな？」	7組
6月25日	1回	多胎児交流・足育の話	双子3組
7月12日	1回	多胎児交流・リフレッシュヨガを楽しもう	双子5組
1月31日	1回	多胎児交流・抱っこひも講座	双子4組
6月19日	1回	子どもの本、わたしの本	5組
11月27日	1回	お湯ポチャレシビ体験	4組
11月28日	1回	ベビーマッサージ	7組
2月7日	1回	レッツダンス	17組
9月10日	1回	おはなしのくにピッピさんによる おはなし会	16組
10月8日	1回	エプロンシアター	9組

(6) 休日における育児参加促進のための講習会の実施

○両親等が参加しやすくなるよう休日（土・日曜、祝日）に育児参加促進に関する講習等を、月2回以上実施した。

- ・父親の子育て支援、交流を促す講習会を実施。
「とっと（父）と子の日」：ふれあいあそび、体を使ったあそび、絵本読み聞かせ。
「パパトークキング」：男性プレイリーダーを交えて話す場を設けた。
- ・家族向けの講習会を実施。
「パパママ東京ぼうさい出前教室」「手形や足形でカレンダーづくり」
「おもちゃを作って遊びましょう」「おうちではじめる性教育」
「かんたん手作りおもちゃ」

- ・親子ひろばに行っていない親子向けの講習会を実施。
初めての親子向けの講座「ようこそ BOUKEN どんどこへ」
- ・発達が心配な家庭向けの相談を実施。
ちょこっと気になる「チョコの日」
親子ひろばが休みの日（日曜日）に実施。（隔月 6 回）

令和 6 年度の講座やイベント

実施日	実施回数	講座・イベント名	参加者数
5・7・9・ 10・11・12・1・ 2・3月 第2土曜	9 回	PAPA'S TALK TIME	父と子 28 組
6 月 23 日 8 月 25 日 11 月 24 日 3 月 23 日	4 回	とっとと子の日	父と子 16 組
5・7・10・11・ 1・3月 第4日曜	6 回	チョコの日（相談）	17 組
4 月 20 日	1 回	ようこそ BOUKEN どんどこへ	3 組
6 月 2 日	1 回	小児理学療法士と遊ぼう	5 組
8 月 24 日	1 回	手形や足形でカレンダーづくり	5 組
9 月 21 日	1 回	おもちゃを作って遊みましょう	6 組
10 月 26 日	1 回	パパママ東京ぼうさい出前教室	5 組
12 月 7 日	1 回	おうちではじめる性教育	3 組
2 月 15 日	1 回	かんたん手作りおもちゃ	6 組

（7）地域支援に関する取組の実施

ア）高齢者・地域学生等地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取組

- ・プレイステーション、親子ひろば両現場にて、地域の学生等の受け入れをおこなった。
実習や地域貢献などで来た大学生や職場体験に来た中学生にも、親子ひろばに入っ

てもらい、乳幼児と遊んだり、母や父と会話したりして親子と交流してもらった。

イ) 地域ボランティアの育成、町内会、子育てサークルとの協働による地域団体活性化等の地域の子育て資源の発掘、育成を継続的に行う取組

- ・「赤ちゃんタイム」に地域ボランティアが来て、親子のサポートや子どもの見守りなどを手伝ってくれた。
- ・助産師の有資格者がボランティア登録し、「赤ちゃんタイム」にて、保護者の相談に応じてくれた。
- ・毎月第 1 週をあいさつ週間として、子育てサポーターが門の前に立ち、近隣の方たちとの挨拶を習慣化した。時期を見て、ボランティア希望の意思があることを伝えてくれた近所の方もいた。
- ・子育てサークルの活動備品などの置き場所を確保し、スムーズに活動ができるように支援した。
- ・子育てサークルと一緒にイベントを企画し、サークルに入っていない親子も一緒に楽しめるように支援した。
- ・プレイリーダーが活動の相談にのり、より楽しめるように支援した。
- ・サークルのメンバーが増えるように、サークルの紹介やつなぐサポートをした。

●地区拠点親子ひろばとの連携

- ・中央地区の地区連絡会に参加し、地域の子育てのネットワークづくりに努めた。
- ・担当課主催、国分寺子ども・子育て支援円卓会議主催の研修に参加した。

●子育て応援パートナー事業との連携

- ・心配な親子について、子育て応援パートナーにつなぎ、連携して支援にあたった。

●事業実施報告等

- ・親子ひろば活動日誌やその他資料等の報告を毎月おこなった。
- ・講座やイベントについて、実施報告書を作成し、期ごとに報告した。

●その他

自主事業「あずこっこ」について

- ・利用者同士による預け合い（スタッフのサポート付き）の仕組みを作ってみたが、登録者は5人で、あずこっこ実施回数は3回のみだった。預け合うには年齢が低く、親しい関係にならないとやりにくくハードルを感じる人が多く、利用者のニーズには合っていなかったと思われた。

●「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」の遵守

- ・日常の中で、虐待の未然防止及び早期発見に向け、関係機関と協力を行った。（子ども子育て支援課、子育て相談室相談支援係等）
- ・全職員において、「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」の確認をおこなった。

研修実施日：5月13日 参加人数 28人

- ・日常の中で子どもたちの行き過ぎた行動を理解、対応するために、いじめ、虐待、暴力の観点から研修をおこなった。

研修実施日：11月11日 参加人数 28人

- ・多様な子どもたちの利用がある中、子どもたちの衝動に流されすぎず、共感的な関係を築いてゆくために、リフレクション（振り返り）の研修をおこなった。

研修実施日：12月16日 参加人数 26人

●事業の質の維持、向上のための取組

- ・必要な研修についての情報を職員に積極的に示し参加を促した。
- ・職員間の日々の日誌を全ての職員と共有し、支援の維持、向上を図った。
- ・国分寺市が行っている「地域福祉推進協議会」「子どもの居場所づくり関係者懇談会」への出席をおこなった。

4. 安全管理

- ・朝と午後の1日2回のミーティングで、安全点検の確認と申し送りをおこなった。
- ・ヒヤリハットの記録を日常的に行い、その都度、スタッフ全員で共有、会議にてポイントを協議し、場内設定やフローに反映した。
- ・冒険的な遊びに伴うリスクを適切に管理し、また屋内外の施設を安全に利用できるよう、プレイステーション、プレイステーション内親子ひろば、それぞれの安全管理マニュアルを作成し、場内の変化に合わせて毎年更新した。
- ・危機管理マニュアルを作成し、避難訓練をおこなった。

避難訓練

日にち	種類	場所	参加者	利用者の参加	内容
4/19	不審者	プレイステーション	金曜スタッフ 8人 その後、全員と共有をおこなった。	なし	不審者マニュアルの読み合わせ
5/20	応急手当研修	プレイステーション	全員 28人	なし	応急手当の研修

6/1	地震	プレイステーション	火曜日スタッフ 8人 その後、全員と共有をおこなった。	なし	地震マニュアルの読み合わせと見直し
7/1	火災	プレイステーション	木曜午後スタッフ 8人 その後、全員と共有をおこなった。	なし	2 階授乳室からの出火と想定。通報訓練も含む
8/29	地震	プレイステーション	事業担当者・当番のスタッフ 18人 その後、全員と共有をおこなった。	なし	震度 4 を想定しての避難訓練
9/28	救急救命講習（自治会主催）	窪東公園	2人 その後、全員と共有をおこなった。		救急救命の講習
10/31 14:00	地震	プレイステーション	当日のスタッフ 35人 その後、全員と共有をおこなった。	あり	利用者も参加して地震の際の避難訓練。マニュアルの見直しをする
11/11	不審者	並木公民館	全員	なし	不審者対応マニュアルの読み合わせと見直し
12/19	火災	プレイステーション	事業担当者 12人 その後、全員と共有をおこなった。	なし	東京消防庁の動画を見る（避難の仕方・消火器の使い方）他のスタッフには動画を見るように伝える。
1/20	救急救命とAED 講習	プレイステーション	全員 28人	なし	消防署員による講習会
2/27	火災	プレイステーション	当日のスタッフ	あり	利用者も参加して避難訓練。問題の洗い出しと意見をまとめる
3/3	火災	ひかり公民館	全員 28人	なし	避難マニュアル火災編の更新と確認

5，情報発信

- ・地域全体で子どもたちを見守るという気運を市民の間に醸成するために、掲示板、チラシ、ホームページ、WEB 媒体を使って様々な情報発信をおこなった。
- ・全校にチラシの配布をおこなった。
- ・掲示板、ホームページ、FB、SNS などでも広報をおこなった。